BUBBLE JET PRINTER

BJ F6000

基本操作ガイド

ご使用前に必ずこの基本操作ガイドをお読みください。将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

J　QA7-0871-V01

はじめに

本書では、大切な記載事項には下記のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

警告：取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。
安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意：取扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

禁止：取扱いを誤った場合に、製品の故障や損傷、品質の低下が発生する恐れのある禁止事項が書かれています。快適に使用していただくために、必ずこの禁止事項をお守りください。

参考：操作の参考になることや補足説明が書かれています。
お読みになることをお勧めします。

CD-ROM：『リファレンスガイド（CD-ROM）』で、さらに詳しく説明されている内容です。内容をさらに理解していただくために、ご覧になることをお勧めします。

Windows： Windows 98/Windows 95をお使いの場合にお読みください。

Macintosh： iMac/Power Macintosh G3をお使いの場合にお読みください。

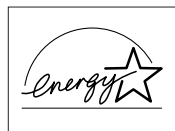
商標について

Canon、BJ および BJC は、キヤノン株式会社の商標です。
Microsoft®、Windows®、Windows NT®は、米国Microsoft 社の米国、その他の国における登録商標です。
iMac、MacintoshおよびPower Macintoshは、米国Apple Computer, Incの商標です。
PC-9800は、日本電気株式会社の商標です。
その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

説明書について

- 本書では、Microsoft® Windows® 3.1、Microsoft® Windows® 95、Microsoft® Windows® 98、Microsoft® Windows NT® 4.0をそれぞれ Windows 3.1、Windows 95、Windows 98、Windows NT 4.0と略して記載しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載漏れなどにお気づきの点がございましたら、お客様相談センターまでご連絡ください。電話番号は、別紙の「ご相談窓口のご案内」に記載しています。
- このプリンタを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。
国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器に関する日本および米国共通の省エネルギーのためのプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費が比較的少なく、その消費を効果的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、日米で統一されています。

目次

Windows 95／Windows NT4.0／Windows 3.1をお使いの方へ

本書に掲載されているプリンタドライバの設定画面は、おもにWindows 98で使用する場合の画面です。
Windows 95で使用する場合も、ほとんど同じ設定画面が表示され、操作方法も変わりません。
Windows 3.1またはWindows NT4.0で使用する場合は、操作方法に若干の違いがあります。
Windows 3.1で使用する場合の詳細は、付録の「Windows 3.1をお使いの方へ」とプリンタドライバのヘルプをご覧ください。
Windows NT4.0で使用する場合の詳細は、Windows NT用プリンタドライバに付属している、ドキュメントファイル（ファイル名：NT310_GUIDE.DOC）またはプリンタドライバのヘルプをご覧ください。

⚠ 安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために、本書の注意事項を必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外は行わないでください。思わぬ事故を起こしたり、火災や感電の原因になります。

お願い：P.2～5で使用しているプリンタの絵はイメージイラストです。BJ F6000とは形態が異なりますので、ご了承ください。

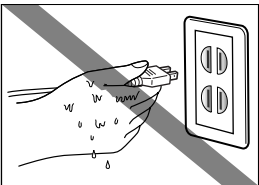
⚠ 警告

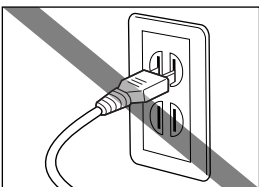
設置場所について

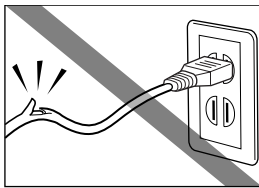
アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。

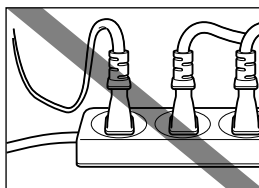
引火性溶剤が内部の電気部品に触れると火災や感電の原因になります。

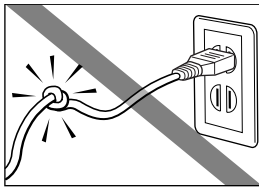
電源について

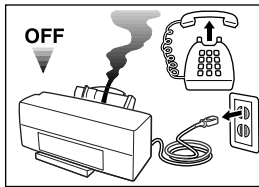
濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因になります。

電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。

差し込みが不十分だと、火災や感電の原因になります。

電源コードを傷つける、加工する、引っ張る、無理に曲げるなどのことはしないでください。また電源コードに重い物をのせないでください。

傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。

ふたまたソケットなどを使ったタコ足配線は行わないでください。

火災や感電の原因になります。

電源コードを束ねたり、結んだりして使用しないでください。

火災や感電の原因になります。

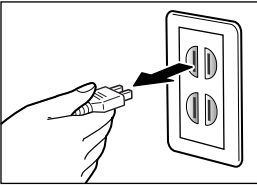
万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常が起こった場合、すぐに電源を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用を続けると火災や感電の原因になります。販売店または修理サービスご相談窓口までご連絡ください。

警告

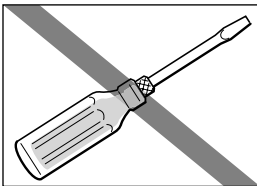
清掃について

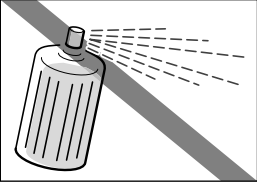
清掃のときは、水で湿らせた布を使用してください。アルコール・ベンジン・シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。

プリンタ内部の電気部品に接触すると火災や感電の原因になります。

清掃のときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

誤って電源ボタンを押してしまうと、作動した内部の部品に触れてけがの原因になることがあります。

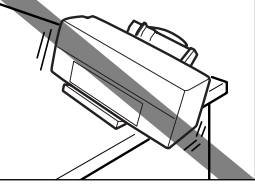
その他

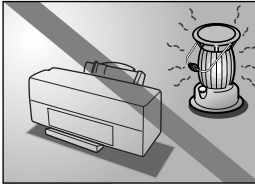
プリンタを分解・改造しないでください。

内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因になります。

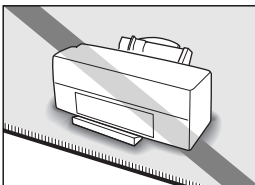
プリンタの近くでは、可燃性のスプレーなどは使用しないでください。

スプレーのガスが内部の電気部分に触れて、火災や感電の原因になります。

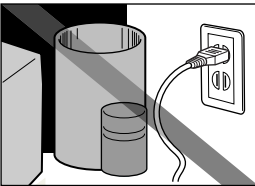
注意

設置場所について

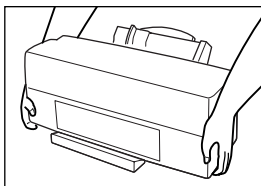
不安定な場所や振動のある場所に設置しないでください。

プリンタが落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所、高温や火気の近くには設置しないでください。

火災や感電の原因になることがあります。周囲の温度が5～35度、湿度が10～90%（結露しないこと）の範囲の場所でお使いください。

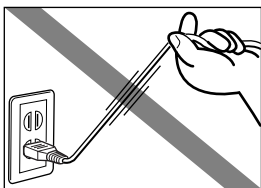
毛足の長いジュータンやカーペットなどの上には設置しないでください。

毛やほこりなどが製品の内部に入り込んで火災の原因になることがあります。

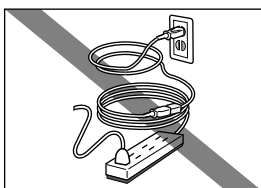
いつでも電源コードが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。

万一プリンタに異常が起きたとき、すぐに電源コードがはずせないため、火災や感電の原因になることがあります。

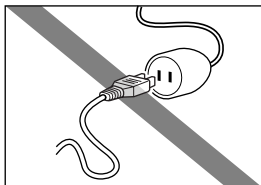
⚠ 注意

プリンタを持ち運ぶときは、必ず両側下部分を両手でしっかりと持ってください。

他の場所を持つと不安定なため、落としてけがの原因になることがあります。

電源について

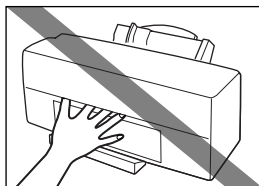
電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

コードを引っ張ると電源コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。

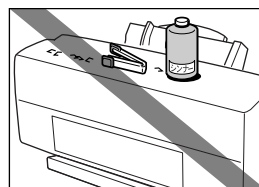
延長電源コードは使用しないでください。

火災や感電の原因になることがあります。

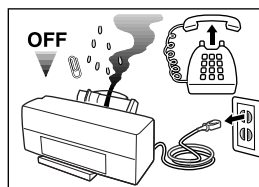
AC100V以外の電源電圧で使用しないでください。

火災や感電の原因になることがあります。なおプリンタの動作条件は次のとおりです。この条件にあった電源でお使いください。

電源電圧：AC100V
電源周波数：50/60Hz

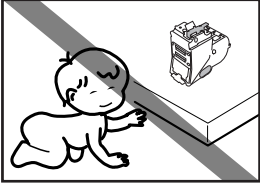
その他

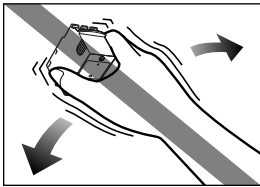
印刷中はプリンタの中に手を入れないでください。

内部で部品が動いているため、けがの原因になることがあります。

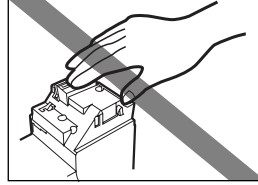
プリンタの上にクリップやホチキス針などの金属物や液体・引火性溶剤（アルコール・シンナーなど）の入った容器を置かないでください。

プリンタ内部に落ちたりこぼれたりすると、火災や感電の原因になることがあります。

万一、異物（金属片・液体など）がプリンタ内部に入った場合は、プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または修理サービスご相談窓口までご連絡ください。

そのまま使用を続けると火災や感電の原因になることがあります。

BJカートリッジについて

安全のため、お子様の手の届かないところへ保管してください。

誤ってインクをなめたり飲んだりした場合には、ただちに医師にご相談ください。

BJカートリッジを落としたり振ったりしないでください。

インクが漏れて周囲や衣服を汚すことがあります。

印刷後、BJカートリッジの金属部分には触れないでください。

熱くなっている場合があり、やけどの原因になることがあります。

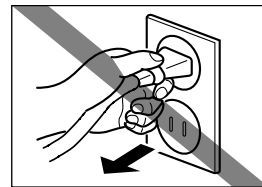
電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

蛍光灯などの電気製品の近くに置くときのご注意

蛍光灯などの電気製品とプリンタは約15cm以上離してください。近づけると蛍光灯のノイズが原因でプリンタが誤動作することがあります。

電源を切るときのご注意

電源を切るときは、必ず電源ボタンを押して電源ランプが消えていることを確認してください。電源プラグをコンセントから抜いて切ると、その後印刷できなくなることがあります。

Windowsで印刷してみよう

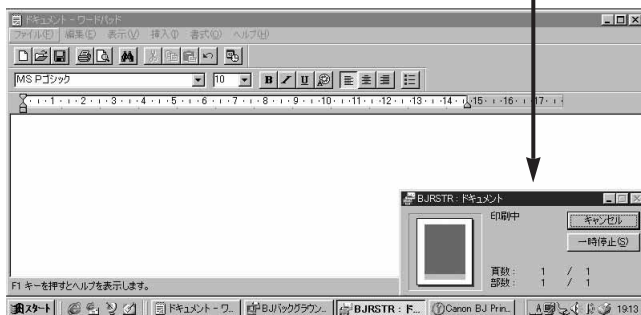
印刷までの流れ（右ページの説明も見ながら操作してください）

アプリケーションソフトで、印刷したい原稿を作成する
（または、印刷したいファイルを開く）

プリンタの準備をする

プリンタドライバで、印刷の設定をする

アプリケーションソフトで、印刷を開始する

印刷中は、次のような画面が表示されます

BJバックグラウンダ
印刷の進行状況を表示します。また、実行中の印刷を中止したり、一時停止することもできます。

BJバックグラウンドモニタ
Windowsのタスクバーにあるボタンをクリックすると、印刷の状況や印刷待ちの文書があるかどうかを見ることができます。また、印刷実行中や印刷待ちの文書を削除して、印刷を中止することができます。

BJステータスモニタ
Windowsのタスクバーにあるボタンをクリックすると、プリンタの状態が表示されます。電源が入っていない、用紙がセットされていないなどのトラブルが発生すると、自動的にメッセージと対処方法を表示します。また、実行中の印刷を中止することもできます。

参考 写真を印刷したり、はがきに印刷したりするときは、上の手順以外に操作が必要になります。
詳しくは、「写真をきれいに印刷する」（→11ページ）、「はがきに印刷する」（→14ページ）をご覧ください。

『かんたんスタートガイド』を読んでプリンタの準備作業が終わったら、印刷してみましょう。
ここでは、普通紙に印刷する場合の手順を簡単に説明します。

このときに、印刷する用紙のサイズを、アプリケーションソフトの[ページ設定]などで設定しておいてください。

❶ プリンタの電源が入っていることを確認する

電源ランプが消えている場合は、電源ボタンを押して電源を入れます。

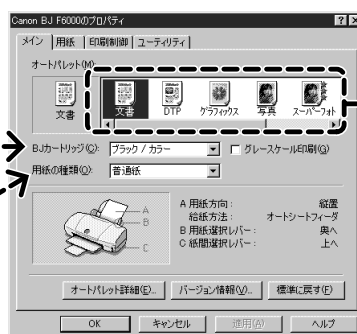
❷ プリンタに用紙が入っていない場合は、セットする

(セットのしかたは、10ページをご覧ください)

❶ プリンタドライバの設定画面を開く

アプリケーションソフトの[ファイル]メニューで[印刷]を選び、印刷を実行する画面で[プロパティ]をクリックします。

📖 参考 アプリケーションソフトによって、設定画面の開きかたや印刷の実行手順は多少ちがいます。お使いのアプリケーションソフトの取扱説明書も併せてご覧ください。

❷ 印刷の設定を行う

📖 参考 [用紙]タブをクリックして、[用紙サイズ]の設定が、アプリケーションソフトで設定したものと同じかどうか、確認してください。違っている場合は、同じサイズに変更してください。

❸ [OK]をクリックして、プリンタドライバの設定画面を閉じる

左の図のような画面で、[OK]をクリックすると、印刷が始まります。

印刷してみよう

Macintoshで印刷してみよう

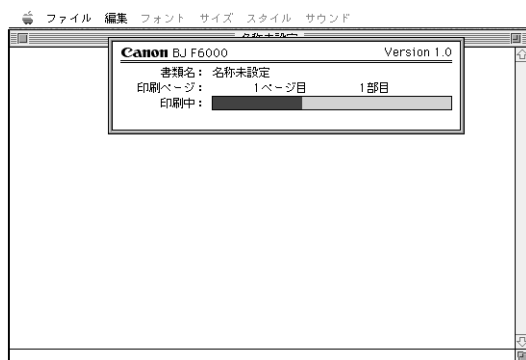
印刷までの流れ（右ページの説明も見ながら操作してください）

アプリケーションソフトで、用紙設定をして、印刷したい原稿を作成する（または、印刷したいファイルを開く）

プリンタの準備をする

プリンタドライバで、印刷の設定をする

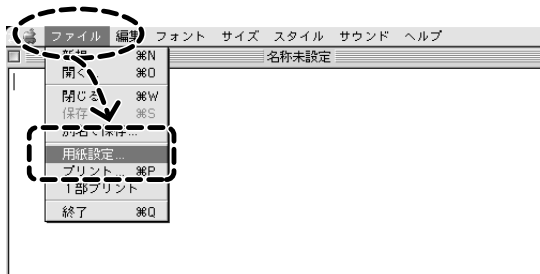
アプリケーションソフトで、印刷を開始する

印刷中は、次のような画面が表示されます

印刷の進行状況が表示されます。

参考　写真を印刷したり、はがきに印刷したりするときは、上の手順以外に操作が必要になります。
詳しくは、「写真をきれいに印刷する」（→11ページ）、「はがきに印刷する」（→14ページ）をご覧ください。

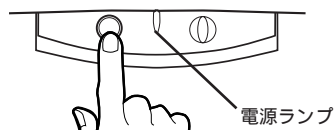
『かんたんスタートガイド』を読んでプリンタの準備作業が終わったら、印刷してみましょう。
ここでは、普通紙に印刷する場合の手順を簡単に説明します。

用紙設定のしかた

アプリケーションソフトの[ファイル]メニューで、[用紙設定]を選ぶのが一般的です。

[用紙設定]を選ぶと、用紙設定ダイアログが開きます。このダイアログで、[用紙サイズ]を、印刷したい用紙と同じサイズにします。

参考 アプリケーションソフトによって、用紙設定ダイアログの開きかたや印刷の実行手順は多少ちがいます。お使いのアプリケーションソフトの取扱説明書も併せてご覧ください。

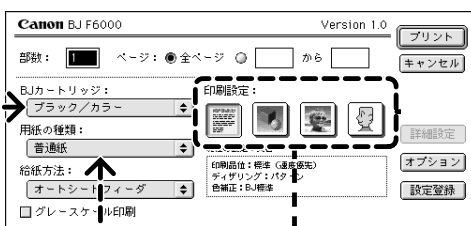
❶ プリンタの電源が入っていることを確認する

電源ランプが消えている場合は、電源ボタンを押して電源を入れます。

❷ プリンタに用紙が入っていない場合は、セットする

（セットのしかたは、10ページをご覧ください）

❶ プリンタドライバの設定画面を開く

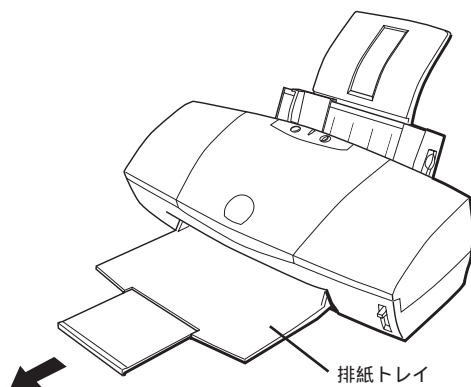
アプリケーションソフトの[ファイル]メニューで、[プリント]を選ぶのが一般的です。

❷ 印刷の設定を行う

上の❷の画面で、[プリント]をクリックすると、印刷が始まります。

用紙をセットする

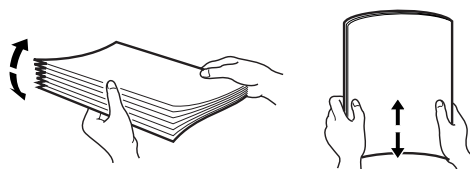
Ａ４サイズの普通紙を例にして、基本的な用紙のセットのしかたを説明します。その他の用紙やキヤノン製専用紙については、「使用できる用紙」（18ページ）をご覧ください。なお、それぞれの用紙のセットのしかたは、『リファレンスガイド（CD-ROM)』で詳しく説明しています。

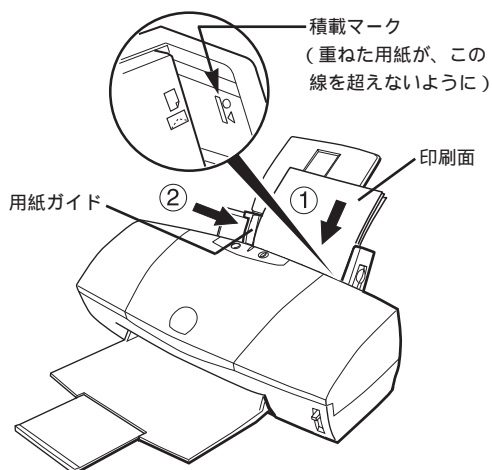
1

排紙トレイを引き出す。

2

用紙をさばいてから、端をきれいにそろえる。

用紙をさばかなかったり、端をそろえずにセットすると、紙づまりの原因になることがあります。

3

用紙をセットする。

❶ 印刷する面を上にして、オートシートフィーダの右端に合わせてセットする。
❷ 用紙ガイドを、用紙の左端に合わせる。

禁止

用紙を持つときは、できるだけ端を持ち、印刷面に触れないようにしてください。印刷面に傷や汚れがつくと、印刷の品質が低下することがあります。

参考

セットできる用紙の枚数は、普通紙（64g/m²）の場合、約100枚が目安です。ただし、オートシートフィーダの積載マークを超えないようにしてください。

印刷が終了した用紙は…

普通紙の場合は、排紙トレイに20枚程度たまったら取り除くようにしてください。インクが乾くまで印刷面にはさわらないようにしてください。
用紙によってはインクが乾くまで時間がかかるものがありますので注意してください（→19ページ）。

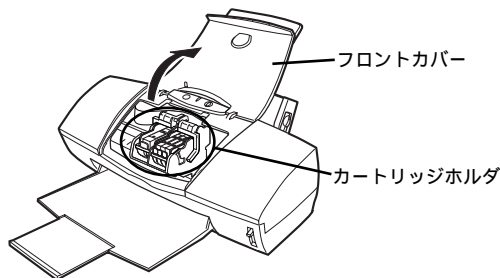
写真をきれいに印刷する

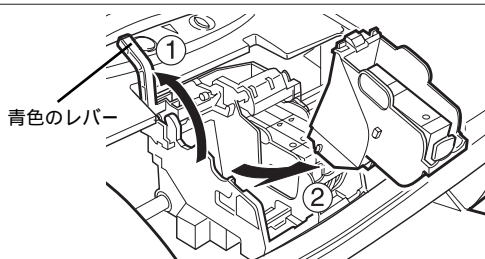
デジタルカメラやスキャナなどで取り込んだ写真を高品質で印刷するためには、フォトBJカートリッジが適しています。ここではフォトBJカートリッジの取付けかたと、プリンタドライバでの適切な印刷設定のしかたを説明します。

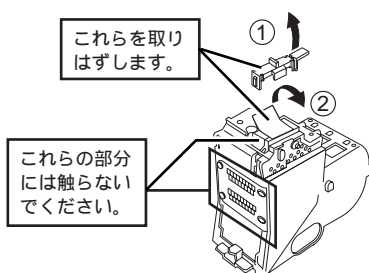
1

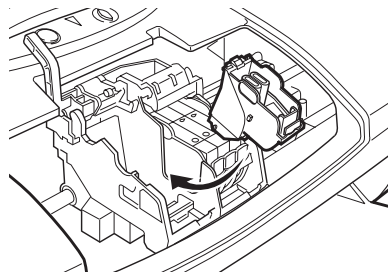
プリンタのフロントカバーを開ける。

カートリッジホルダが中央へ移動します。

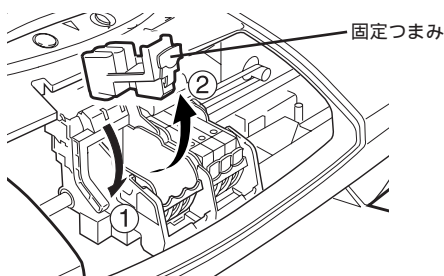
2

左側の青色のレバーを上げ(①)、ブラックBJカートリッジを取り出す(②)。

取り出したブラックBJカートリッジは保管箱に入れてください。

3

フォトBJカートリッジ(BC-32フォト)をパッケージから取り出し、オレンジ色の保護キャップ(①)、保護テープを取りはずす(②)。

4

フォトBJカートリッジ(BC-32フォト)を、左側のカートリッジホルダに入れる。

5

左側の青色のレバーを下げて固定し(①)、オレンジ色のプラスチック材を、固定つまみを押して取りはずす(②)。

禁止

BJカートリッジとインクタンクは、説明図と同じ位置に取り付けてください。正しい位置に取り付けないと、正常に印刷できません。

参考

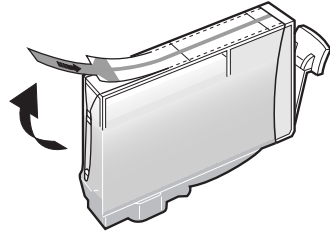
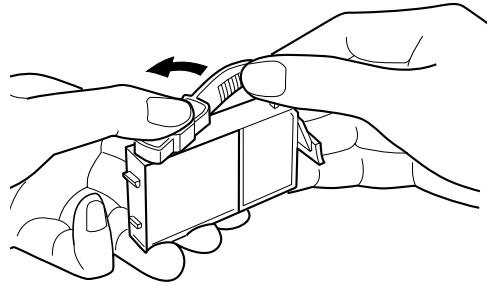
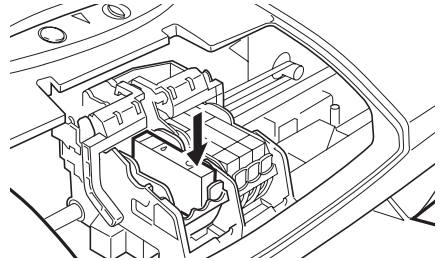
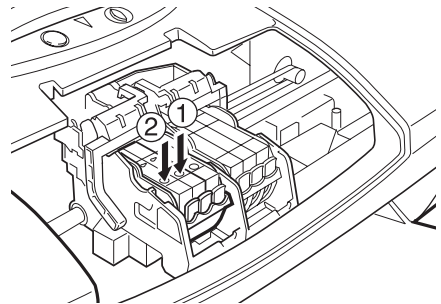
まだ使えるBJカートリッジを保管するときは必ず保管箱に入れてください。保管箱に入れないと、インクが乾燥して印刷できなくなります。

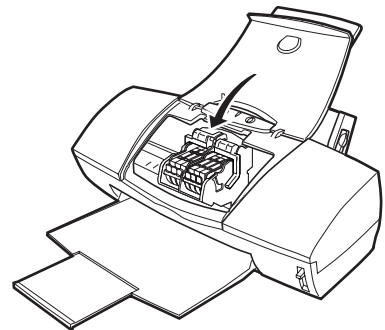
禁止

はずした保護キャップと保護テープは再装着できません。地域の条例に従って捨ててください。

参考

フォトBJカートリッジ(BC-32フォト)の特長は17ページをご覧ください。

6 フォトマゼンタのインクタンク(BCI-3PM)を取り出し、オレンジ色のテープを持って、透明フィルムをはがす。

7 図のようにインクタンクの底部をささえて持ち、オレンジ色の保護キャップを、矢印の方向にひねって取りはずす。

8 フォトマゼンタのインクタンク(BCI-3PM)をフォトBJカートリッジの右側に取り付け、インクタンク上部を、カチッと音がするまで押して固定する。

9 同様にして、中央にフォトシアン（BCI-3PC）のインクタンクを取り付け（①)、左側にフォトブラック(BCI-3PBK)のインクタンクを取り付ける(②)。

10 フロントカバーを閉じる。

以上で、BJカートリッジの組み合わせは、写真の印刷に最も適したフォトカラーセットになります。

はじめて使用するときは、プリントヘッドの位置調整（32ページ）を行ってください。

11 プリンタドライバの設定画面を開き、アイコンを選ぶ。

Windows

[オートパレット]で、[スーパーフォト]のアイコンを選びます。

フォトカラーセットを使って印刷したいときは、必ず［オートパレット］で［スーパーフォト］か［デジカメ］を選んでください。他のオートパレットを選択した場合は［BJカートリッジ］の設定を［フォト／カラー］に変える必要があります。

Macintosh

[印刷設定]で、（写真）のアイコンを選び、[BJカートリッジ]で、[フォト／カラー]を選びます。

（Windowsの場合）

12 用紙の種類を選ぶ。

Windows

[用紙の種類]で､[普通紙]を選びます。

Macintosh

[用紙の種類]に、[普通紙]が表示されているのを確認します。
（[普通紙］以外の用紙が表示されている場合は、[普通紙］を選んでください。）

他の用紙を使用する場合は、その用紙を選択します。

以上で印刷設定は完了です。
Windowsの場合は[OK]、
Macintoshの場合は［プリント］をクリックして印刷を開始します。

（Windowsの場合）

さらに、きれいな印刷をめざすなら…

写真の印刷に適した用紙をお使いください。以下の用紙は色の再現性に優れ、リアルな写真の表現を可能にします。各用紙の特長については「使用できる用紙」（18ページ）をご覧ください。

- 高品位専用紙（HR-101S）
- フォト光沢紙（GP-301）
- フォト光沢ハガキ（KH-201N）
- フォト光沢カード（FM-101）
- フォト光沢フィルム（HG-201）

印刷するときは、プリンタドライバの[用紙の種類]の設定を、お使いの用紙に合わせてください。

参考

- Windows 98／Windows 95の設定画面の開きかたは7ページをご覧ください。
- iMac／Power Macintosh G3の設定画面の開きかたは9ページをご覧ください。設定画面について、詳しくは『USB/パラレル変換ケーブル IFC-USB/P25 接続ガイド』の「iMac編」を参照してください。
- Windows 3.1の設定画面の開きかたは、53ページをご覧ください。

参考

Windows

標準カラーセット（ブラックBJカートリッジとカラーBJカートリッジの組み合わせ）で写真を印刷する場合は［オートパレット］で［写真］を選んでください。

はがきに印刷する

はがきに印刷するときは、用紙のセットのしかたが普通紙と若干違います。また印刷する内容によってプリンタドライバで印刷設定を変える必要があります。ここでは官製はがきを例にして、印刷のしかたを説明します。

禁止

カールしたはがきは使用しないでください。
カールしたはがきを使用すると、はがきが斜めに送られてしまいます。
カールしているときは、はがきを逆向きに曲げてカールを直してください。このとき、はがきの表面が波状にならないよう注意してください。

参考

はがきは最大40枚までセットできます。

参考

- Windows 98／Windows 95の設定画面の開きかたは7ページをご覧ください。
- iMac／Power Macintosh G3の設定画面の開きかたは9ページをご覧ください。設定画面について、詳しくは『USB/パラレル変換ケーブル IFC-USB/P25 接続ガイド』の「iMac編」を参照してください。
- Windows 3.1の設定画面の開きかたは、53ページをご覧ください。

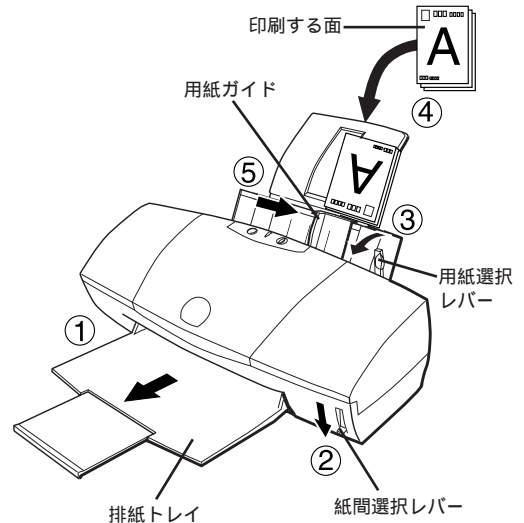
参考

Windows

[写真]は[BJカートリッジ]の設定が[ブラック/カラー]、[スーパーフォト]は[フォト/カラー]という違いがあります。装着しているBJカートリッジの組み合わせに合わせて、使い分けてください。
BJカートリッジの種類について、詳しくは16ページをご覧ください。

1 プリンタの電源が入っていることを確認し、はがきをセットする。

❶排紙トレイを引き出す。
❷紙間選択レバーを下（✉）にセットする。
❸用紙選択レバーを手前に起こす。
❹右図を参照してはがきの上下を確認し、印刷する面を上にしてオートシートフィーダの右端に合わせてセットする。
❺用紙ガイドを、用紙の左端に合わせる。

特に、はがきの上下を間違えてセットしないように注意してください。

2 プリンタドライバの設定画面を開き、アイコンを選ぶ。

宛名、文字中心の原稿 →

（Windows）（Macintosh）

文章、イラストなどが混在する原稿 →

（Windows）（Macintosh）

写真の原稿 →

（Macintosh）

（Windows）

スキャナやデジタルカメラで読み込んだ画像 →

（Windows）

（Windowsの場合）

3 用紙の種類を選ぶ。

Windows

[用紙の種類]で、[はがき]を選びます。

Macintosh

[用紙の種類]で、[はがき]を選びます。

（Windowsの場合）

4 **Windows**

[用紙]タブをクリックし、[用紙サイズ]が[はがき]または[はがき横]になっていることを確認する。

はがきを縦置きにセットした場合は[はがき]、横置きにセットした場合は[はがき横]に設定されている必要があります。
用紙サイズが[はがき]または[はがき横]になっていない場合はアプリケーションソフトの設定を確認してください。アプリケーションソフトの設定に問題がなければ、プリンタドライバの[用紙サイズ]で[はがき]または[はがき横]を選択してください。

5 Windowsの場合は[OK]、Macintoshの場合は[プリント]をクリックして印刷を開始する。

印刷済みのはがきは1枚ごとに、排紙トレイから取り除いてください。
反対側の面を印刷する時には、印刷面が十分に乾燥するのを待って（約2分間）、同様の手順で印刷するようにしてください。

写真の再現性にこだわるなら…

通常の官製はがきではなく、表面に光沢のあるはがきを使うと写真の発色性がさらに向上します。キヤノン製専用紙としては以下があります。

・フォト光沢ハガキ（KH-201N）

印刷するときは、プリンタドライバの[用紙の種類]で必ず[光沢はがき]を選択し、必ず縦置きにはがきをセットしてください。その他の設定は官製はがきの場合と同じです。

禁止

はがきを持つときはできるだけ端を持ち、インクが乾くまで印刷面に触れないでください。

参考

ブラックBJカートリッジを取り付けて官製はがきの両面に印刷する場合、印刷した面のインクが次のはがきに写る場合があります。
この場合、プリンタドライバの設定画面でブラックの濃度を薄くすると改善される場合があります。詳しくは48ページをご覧ください。

使用できるBJカートリッジ

本機は、つねに２つのBJカートリッジを取り付けて使用します。
用途によって、BJカートリッジの組み合わせ（標準カラーセットとフォトカラーセット）を変えてご使用ください。
BJカートリッジは、各色のインクタンクが分離した構造になっています。
インクがなくなったら、なくなった色のインクタンクのみ交換できます（26ページ）。
プリントヘッドが消耗したら、新しいBJカートリッジに交換してください（29ページ）。

● 標準カラーセット
左側にブラックBJカートリッジ、右側にカラーBJカートリッジをセットします。
ビジネスグラフや一般的なカラー、モノクロの文書の印刷に適しています。

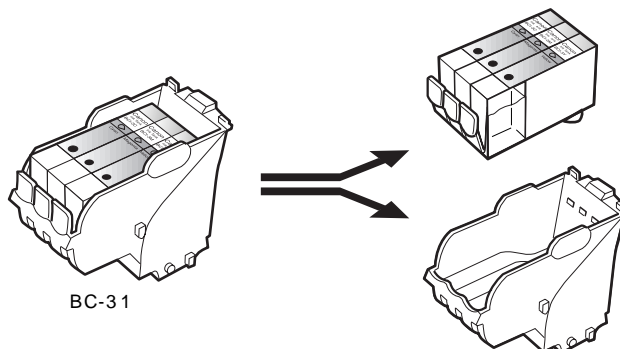
● フォトカラーセット
左側にフォトBJカートリッジ、右側にカラーBJカートリッジをセットします。
写真などの画像の印刷に適しています。

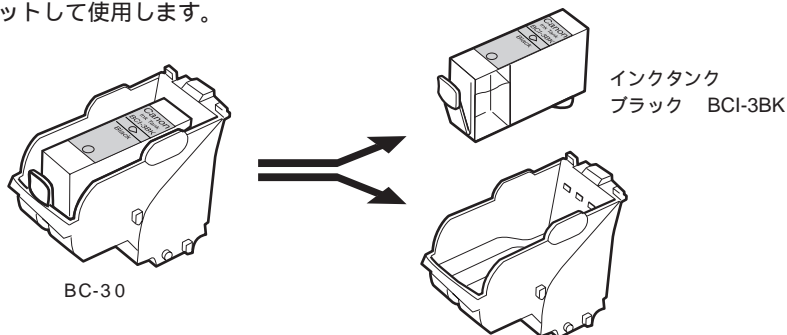
カラーBJカートリッジ BC-31

標準の3色（シアン、マゼンタ、イエロー）のカラーインクが入っています。つねに、右側のカートリッジホルダにセットして使用します。

プリントヘッドとは
BJカートリッジ上にある、細いノズルからインクを用紙に吹き付ける部分です。
乾燥したり、汚れると、ノズルがつまり、インクが出なくなります。

参考

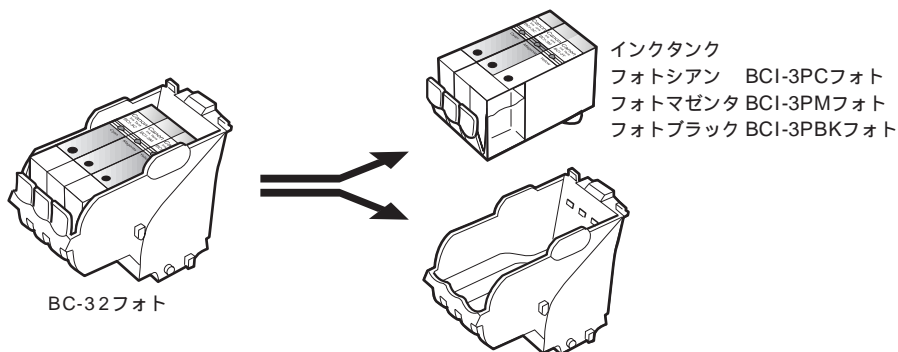
使用済みBJカートリッジ回収のお願い
キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みBJカートリッジ、インクタンクの回収を推進しています。この回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。
つきましては、キヤノンの“環境保全と資源の有効活用”の主旨にご賛同いただければ、お手数ではございますが、ご使用済みとなったBJカートリッジ、インクタンクを、下記マークのある販売店または最寄りのキヤノン販売営業拠点までお持ちいただければ幸いと存じます。

ブラックBJカートリッジ　BC-30

顔料系のブラックインクが入っています。顔料系のインクはシャープな黒文字を印刷するのに適しており、乾くのに時間がかかる反面、乾燥すると耐水性にすぐれています。文字や表、グラフなどが中心の原稿を印刷するときに、左側のカートリッジホルダにセットして使用します。

または

フォトBJカートリッジ　BC-32フォト

標準よりやや色の薄い2色（フォトシアン、フォトマゼンタ）のカラーインクと染料系のブラックインクの合計3色が入っています。写真などの自然画像を印刷するときに、左側のカートリッジホルダにセットして使用します（11ページ）。

インクタンクやBJカートリッジをお求めの際は

ブラックBJカートリッジ用か、フォトBJカートリッジ用か、カラーBJカートリッジ用かを確認の上、型番をご指定ください。取り付けるときは、各BJカートリッジのプリントヘッドに合ったインクタンクを正しくセットしてください。
間違えて取り付けると、正常に印刷できなくなります。

参考

最適な印刷品位を保つため、開封後は、BJカートリッジは1年、インクタンクは6ヶ月で使い切るようにしてください。

注意

安全のため、お子様の手の届かないところへ保管してください。
誤ってインクをなめたり飲んだりした場合には、ただちに医師にご相談ください。

禁止

使いきったインクタンクをBJカートリッジに取り付けたまま、長期間プリンタや保管箱内に放置しないでください。
インクが固着して使用できなくなることがあります。インクがなくなったら、すみやかにインクタンクを交換してください。
交換のしかたは26ページをご覧ください。

使用できる用紙

使用できる用紙の種類と特長を説明します。それぞれの用紙のセットのしかた、印刷範囲などは、『リファレンスガイド（CD-ROM）』で詳しく説明しています。

参考

用紙の重さ

オートシートフィーダから給紙できる用紙の重さは105g/m²以下です。
重さが105g/m²を超える紙は、紙づまりなどの原因になりますので使用しないでください。

参考

用紙サイズ

定型紙は以下が使用できます。
A5
A5横
A4
A4横
A3
B5
B5横
B4
Letter
Letter横
Legal
Letter＋
A4+
はがき
はがき横
フォトカード*
封筒（洋形4号）
封筒（洋形6号）
非定型紙は横100.0mm×長さ100.0mmから横297.0mm×長さ584.2mmまでの範囲で使用できます。

*フォト光沢カードを使用するときにプリンタドライバで設定する名称です。

■一般的な用紙

普通紙

複写機などで使用される一般的なコピー用紙（重さ64～105g/m²）が使用できます。

はがき

一般の官製はがきを使用できます。往復はがきは、折り目がついているため使用できません。

封筒

市販の定型封筒では洋形4号、洋形6号が使用できます。

■キヤノン製専用用紙

最適な印字品位を保つため、次のキヤノン製専用紙のご使用をお勧めします。

バブルジェット用紙（LC-301）

BJプリンタ専用の普通紙です。

高品位専用紙（HR-101S）

普通紙よりもカラーの発色性に優れています。グラフなどを多用したビジネス文書、写真の印刷に適しています。

フォト光沢フィルム（HG-201）

フォト光沢紙よりつやのあるフィルム材質のシートです。フォトBJカートリッジとの組み合わせで写真を最高品質で表現します。

フォト光沢ハガキ（KH-201N）

内容を書く面に光沢がある、はがきサイズの専用紙です。写真やイラストを多用した原稿は、官製はがきより美しい仕上がりになります。（横置きで印刷することはできません）

バックプリントフィルム（BF-102）

白い半透明のフィルム材質でできているため、裏から光を当てて印刷内容を展示できます。印刷結果は左右が反転した鏡像印刷になります。

OHPフィルム（CF-102）

オーバーヘッドプロジェクタ（OHP）で使用する専用のフィルムです。カラープレゼンテーション資料の印刷に最適です。

バナー紙（長尺紙）（BP-101）

A4サイズがつながった長い用紙です。ロングサイズのポスターや垂れ幕（最大6ページ分）などの印刷ができます。

Tシャツ転写紙（TR-201）

Tシャツ用のアイロンプリントを作成できる用紙です。印刷結果は左右が反転した鏡像印刷になります。

BJクロス（FS-101）

綿100%の布シートです。アイデア次第でオリジナルグッズを作成できます。

フォト光沢紙（GP-301）

高品位専用紙よりも厚手で、印刷面に光沢があるため、写真に近い仕上がりが表現できます。

フォト光沢カード（FM-101）

フォト光沢紙と同じ材質のカード専用紙です。ミシン目よりも大きめに印刷してカットすると、白い縁のない全面印刷ができます。

用紙についてのご注意

以下の用紙は使用しないでください。
きれいに印刷できないだけでなく、紙づまりや故障の原因になります。

- **折れている用紙**
- **カールしている用紙**
- **しわがついている用紙**
- **濡れている用紙**
- **薄すぎる用紙（重さ64 g/m²未満）**
- **厚すぎる用紙（重さ105g/m²を超えるもの）**
- **往復はがき**
- **裏面が写真のはがき**
- **写真やステッカーを貼ったはがき**
- **ふたの部分が二重になった封筒**
- **ふたの部分がシールになった封筒**
- **型押しやコーティングなどの加工がされた封筒**
- **穴のあいている用紙（例：ルーズリーフ）**

用紙を保管するときは

使わなかった用紙は入っていた袋に入れ、直射日光の当たる場所や高温多湿な場所をさけて保管してください。曲がったり、しわがつかないよう水平に置いてください。

用紙を持つときは

用紙はできるだけ端を持ち、印刷面に触れないようにしてください。
印刷面に傷がついたり汚れがつくと、印刷の品質が低下することがあります。

印刷後、インクが乾くまで印刷面には触らないでください

次の用紙は、1枚印刷するたびに取り除き、インクが乾くまで待ってください。
待ち時間の目安は以下のとおりです。

官製はがき	約2分
フォト光沢ハガキ／フォト光沢紙／フォト光沢カード	約2分
フォト光沢フィルム	約10分
OHPフィルム／バックプリントフィルム	約15分
BJクロス	約60分
Tシャツ転写紙	用紙に添付の取扱説明書参照

また、印刷済みの用紙を水で濡らしてしまった場合は、乾くまで印刷面に触れないでください。

参考

キヤノン製専用紙をお使いの際は、専用紙の袋に書かれている「使用上の注意」に従ってください。

参考

普通紙や高品位専用紙の場合は、排紙トレイに印刷済みの用紙が20枚程度たまったら取り除いてください。

プリンタの詳しい使いかたを知るには

『基本操作ガイド』では、これまでに次の印刷のしかたを説明してきました。

- **普通紙に印刷する（Windows ➡ 6ページ、Macintosh ➡ 8ページ）**
- **写真をきれいに印刷する（➡ 11ページ）**
- **はがきに印刷する（➡ 14ページ）**

この他にも、いろいろな用紙に印刷することができます。また、プリンタドライバで印刷の設定を変えることで、さまざまなイメージの印刷をすることができます。
詳しい使いかたは、別の説明書に記載されています。それらもご覧になり、BJ F6000 をよりご活用ください。

■各説明書の種類

お使いのコンピュータの環境によって異なります。

Windows 98またはWindows 95をお使いの場合

プリンタの操作に関する全般の説明を見たいときは...	➡	『リファレンスガイド』をご覧ください
プリンタドライバの設定画面を開きながら、説明を見たいときは...	➡	『プリンタドライバのヘルプ』をご覧ください

Windows NT4.0をお使いの場合

プリンタの操作に関する全般の説明を見たいときは...	➡	プリンタドライバに付属している、『ドキュメントファイル』（ファイル名：NT310_GUIDE.DOC）をご覧ください
プリンタドライバの設定画面を開きながら、説明を見たいときは...	➡	『プリンタドライバのヘルプ』をご覧ください

Windows 3.1をお使いの場合 ➡ 『プリンタドライバのヘルプ』をご覧ください

iMac/Power Macintosh G3をお使いの場合

プリンタの操作に関する全般の説明を見たいときは...	➡	『リファレンスガイド』をご覧ください
プリンタドライバの設定画面を開きながら、説明を見たいときは...	➡	『バルーン表示（ヘルプ）』をご覧ください

■各説明書の内容と見かた

リファレンスガイド **Windows** **Macintosh**

- **普通紙以外の用紙の使いかた、効果的な印刷のしかた**
- **BJカートリッジの取扱い、設定のしかた**
- **プリンタドライバでの詳細な設定のしかた**
- **印刷のテクニック**
- **困ったときには（『基本操作ガイド』に書かれている以外の内容が含まれています）**

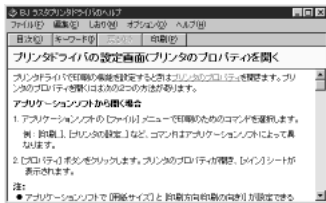
などが説明されています。
1冊の本を、画面上で読むような感覚で見ることができます。

見るには…
『プリンタドライバ/リファレンスガイド』CD-ROMのケースに入っている、ブックレットの説明をご覧ください。

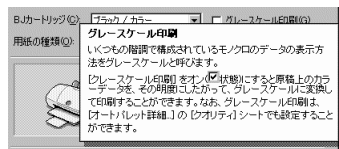
プリンタドライバのヘルプ **Windows**

プリンタドライバのヘルプには、次の２種類があります。

②設定項目の説明を見るためのヘルプ
見るには、ここをクリックして、ポインタの形が変わったら、見たい項目をクリック

①操作説明を見るためのヘルプ
見るには、ここをクリック

①操作説明を見るためのヘルプ

操作の内容（例：用紙の種類を設定する）別に、説明されています。
「プリンタドライバの設定を変えたいが、どこを操作すればよいかわからない」というような場合に見ると便利です。

②設定項目の説明を見るためのヘルプ

クリックした箇所の用語と意味、役割が説明されています。
「このボタンはどのようなときに使うのか知りたい」というような場合に見ると便利です。

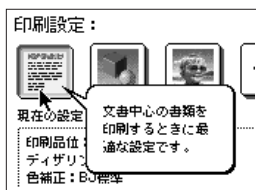
参考 Windows 3.1には、「設定項目の説明を見るためのヘルプ」はありません。
プリンタドライバのヘルプを見るには、プリンタドライバの設定画面で、[ヘルプ]ボタンをクリックしてください。表示されているダイアログボックスについて説明を見ることができます。

ドキュメントファイル（ファイル名：NT310_GUIDE.DOC）

Windows NT4.0用プリンタドライバのインストール方法、プリンタドライバの設定方法全般が説明されています。

見るには…
Windowsの[ワードパッド]などで開いてご覧ください。

バルーン表示(ヘルプ) **Macintosh**

マウスポインタを置いた箇所の用語と意味、役割が説明されます。
「このボタンはどのようなときに使うのか知りたい」というような場合に見ると便利です。

見るには…
メニューバーの[ヘルプ]から、[バルーン表示]を選択します。
詳しくは、『USB/パラレル変換ケーブル IFC-USB/P25 接続ガイド』の「iMac編」を参照してください。

お手入れ

この章ではBJカートリッジに関するお手入れを中心に説明します。また、プリンタを長持ちさせるために、清掃のしかた（33ページ）も説明します。

■BJカートリッジ交換のめやす

BJカートリッジのインクタンク、プリントヘッドは消耗品です。交換するタイミングは以下の図を参考にしてください。必要なお手入れの操作については記載ページを参照してください。

■インクタンク交換のめやす

印刷がかすれたり白筋が出たら、フロントカバーを開けてインクタンクを取り出し、インクの量を確認してみてください。

インクがなくなっている

参考

インクを使い切った状態になると、BJステータスモニタに「インクなしのエラー」が表示され（Windowsの場合）、本体のブザーが4回鳴って知らせます。

↓

インクタンクの交換　→P.26

■プリントヘッド交換のめやす

インクはあるのに、印刷がかすれたり白い筋が入る

参考

インクタンクを新品に交換しても、印刷結果がよくならない場合は、プリントヘッドのノズルの目づまりや、プリントヘッドの消耗が考えられます。以下の順番でメンテナンスを行ってください。

↓

ノズルチェックパターンの印刷→P.23

↓ パターンが正常に印刷されない場合

プリントヘッドのクリーニング→P.24

↓ 改善しない場合

ヘッドリフレッシング　→P.25

↓ 改善しない場合

BJカートリッジの交換　→P.29

↓

プリントヘッドの位置調整　→P.32

ノズルチェックパターンを印刷する

プリントヘッドのノズルから正常に各色のインクが出ているか、また、2個のBJカートリッジのプリントヘッド位置にずれがないか、ノズルチェックパターンを印刷して確認します。印刷結果がかすれていたり、色味がおかしいときに行ってください。

1 電源が入っていることを確認し、A4サイズの用紙をセットする。

2 プリンタドライバの設定画面を開く。

Windows

❶[スタート]をクリックし、[設定]−[プリンタ]を選択します。

❷[Canon BJ F6000] をクリックし、[ファイル]メニューから[プロパティ]を選択します。

3 [テストプリント]の アイコンをクリックする。

[テストプリント]を表示するには…

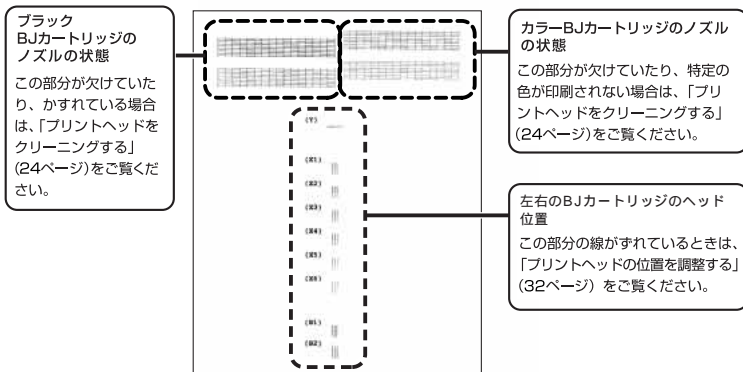
Windows

[ユーティリティ]タブをクリックして、[ユーティリティ]シートを開きます。

Macintosh

[ユーティリティ]ボタンをクリックして、メニューから[テストプリント]を選択します。

4 [ノズルチェックパターンを印刷しますか？]のメッセージが表示されたら、[OK]をクリックする。

5 印刷されたノズルチェックパターンを見て、各BJカートリッジのノズルの状態を確認する。

参考

・iMac／Power Macintosh G3の設定画面の開きかたは9ページをご覧ください。設定画面について、詳しくは『USB/パラレル変換ケーブル IFC-USB/P25 接続ガイド』の「iMac編」を参照してください。

・Windows 3.1の設定画面の開きかたは、53ページをご覧ください。

参考

Windows NT 4.0をお使いの方は、プリンタドライバに付属している、ドキュメントファイル(ファイル名：NT310_GUIDE.DOC)の説明を参照してください。Windowsの[ワードパッド]などで開いてご覧ください。

参考

ノズルチェックパターンの印刷はプリンタ本体からも実行できます。リセットボタンを押し続けて、ブザーが2回鳴ったときに離してください。

CD-ROM

左で説明しているノズルチェックパターンは、標準カラーセットのものです。フォトカラーセットのノズルチェックパターンの見かたは、『リファレンスガイド（CD-ROM)』をご覧ください。

プリントヘッドをクリーニングする

禁止

不必要なクリーニングやヘッドリフレッシングは避けてください。
クリーニングやヘッドリフレッシングを行うとインクを消耗します。

参考

- iMac／Power Macintosh G3の設定画面の開きかたは9ページをご覧ください。設定画面について、詳しくは『USB/パラレル変換ケーブル IFC-USB/P25 接続ガイド』の「iMac編」を参照してください。
- Windows 3.1の設定画面の開きかたは、53ページをご覧ください。

参考

Windows NT 4.0をお使いの方は、プリンタドライバに付属している、ドキュメントファイル（ファイル名：NT310_GUIDE.DOC）の説明を参照してください。Windowsの[ワードパッド]などで開いてご覧ください。

参考

クリーニングはプリンタ本体からも実行できます。リセットボタンを押し続けて、ブザーが1回鳴ったときに離してください。

プリントヘッドのノズルのつまりを取るクリーニングには、2種類あります。通常はクリーニングを行い、改善されないときは、より強力なヘッドリフレッシングを行ってください。

1. クリーニングを行う

1 電源が入っていることを確認する。

2 プリンタドライバの設定画面を開く。

Windows

❶[スタート]をクリックし、[設定]－[プリンタ]を選択します。

❷[Canon BJ F6000] をクリックし、[ファイル]メニューから[プロパティ]を選択します。

3 [クリーニング]の［アイコン］アイコンをクリックする。

[クリーニング]を表示するには...

Windows

[ユーティリティ]タブをクリックして、[ユーティリティ]シートを開きます。

Macintosh

[ユーティリティ]ボタンをクリックして、メニューから[クリーニング]を選択します。

4 [クリーニングを行うプリントヘッドを選択してください]のメッセージが表示されたら、クリーニングするプリントヘッドを選択し、[実行]をクリックする。

[全色一括]…両方のBJカートリッジ
[ブラック]…ブラックインクの入っているBJカートリッジのみ
[カラー]…カラーインクの入っているBJカートリッジのみ

5 [クリーニングを実行しますか？]のメッセージが表示されたら、[OK]をクリックする。

電源ランプが点滅して、クリーニング動作を始めます。終了するまで30秒前後かかりますので、電源ランプの点滅が止まるまで、しばらくお待ちください。

2.ノズルチェックパターンを印刷し、クリーニングの効果を確認する（23ページ）

3.クリーニングの効果がない場合、ヘッドリフレッシングを行う

❶[クリーニング]の アイコンをクリックする。

[クリーニング]を表示するには…

Windows

[ユーティリティ]タブをクリックして、[ユーティリティ]シートを開きます。

Macintosh

[ユーティリティ]ボタンをクリックして、メニューから[クリーニング]を選択します。

❷[ヘッドリフレッシングを実行しますか？]のメッセージが表示されたら、[OK]をクリックする。

電源ランプが点滅して、ヘッドリフレッシング動作を始めます。終了するまで１～２分強かかりますので、電源ランプの点滅が止まるまで、しばらくお待ちください。

4.ノズルチェックパターンを印刷し、ヘッドリフレッシングの効果を確認する（23ページ）

効果がない場合は、再度、クリーニングとヘッドリフレッシングの操作を行ってください。5回繰り返しても効果がない場合は、BJカートリッジが消耗している可能性があります。交換のしかたは以下をご覧ください。
→BJカートリッジを交換する（29ページ）

参考

- Windows 98/Windows 95の設定画面の開きかたは前ページの手順2をご覧ください。
- iMac／Power Macintosh G3の設定画面の開きかたは9ページをご覧ください。設定画面について、詳しくは『USB/パラレル変換ケーブル IFC-USB/P25 接続ガイド』の「iMac編」を参照してください。
- Windows 3.1の設定画面の開きかたは53ページをご覧ください。

参考

Windows NT 4.0をお使いの方は、プリンタドライバに付属している、ドキュメントファイル（ファイル名：NT310_GUIDE.DOC）の説明を参照してください。
Windowsの[ワードパッド]などで開いてご覧ください。

インクタンクを交換する

参考

インクタンク交換の目安は22ページをご覧ください。

禁止

- 複数のインクタンクを交換する場合、一度に取りはずさないでください。必ず1つずつ交換してください。入れる場所をまちがえると印刷できなくなります。
- インクタンクのインク出口には手を触れないでください。インクが正しく供給されなくなる場合があります。

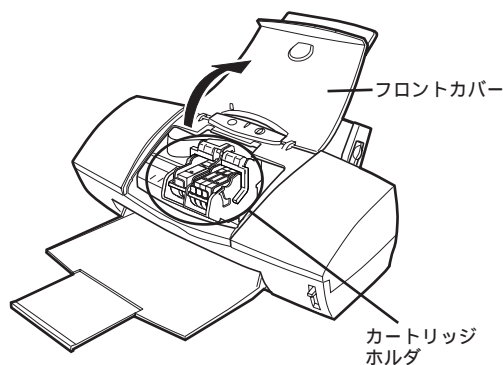
注意

インクタンクを落としたり振ったりしないでください。
インクが漏れて周囲や衣服を汚すことがあります。

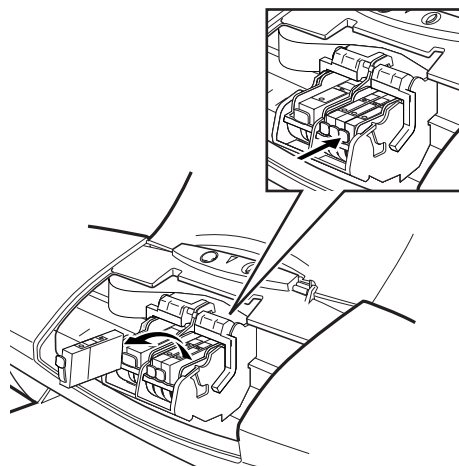
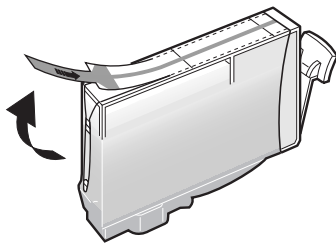
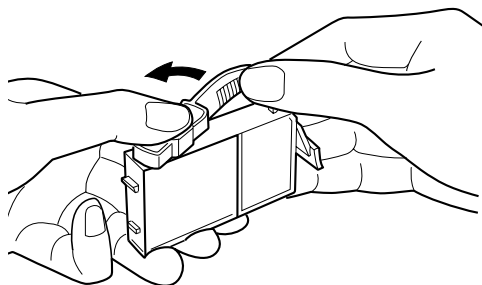
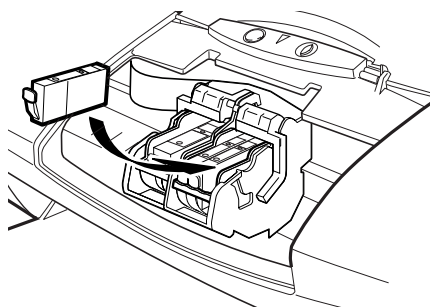
BJカートリッジのインクがなくなったとき、次の手順に従ってインクタンクを交換します。

1

プリンタの電源が入っていることを確認し、フロントカバーを開ける。

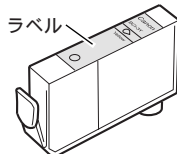
カートリッジホルダが中央へ移動します。

2

インクのなくなったインクタンクの固定つまみを押して、インクタンクを取りはずす。

BJカートリッジのプリントヘッド部分は取り付けたままにします。

3 新しいインクタンクを袋から取り出し、オレンジ色のテープを持って、点線に沿って開封し、フィルムをはがす。

4 図のようにインクタンクの底部をささえて持ち、オレンジ色の保護キャップを、矢印の方向にひねって取りはずす。

5 新しいインクタンクをカートリッジホルダに斜めに差し込む。

参考

使用済みのインクタンクは、回収のご協力をお願いします。（16ページ）
捨てる場合は、地域の条例に従ってください。

禁止

フィルムをはがすとき、その下にあるインクタンクのラベルまではがさないようにしてください。ラベルをはがすと使用できなくなります。

禁止

はずした保護キャップは再装着しないでください。
地域の条例に従って捨ててください。

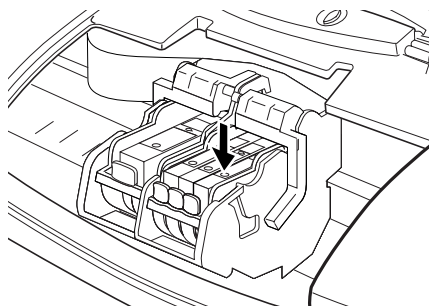
参考

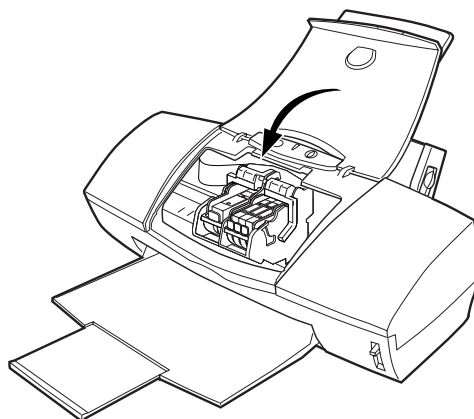
各BJカートリッジのインクタンクの並びかたは以下のとおりです。

標準カラーセットの場合
フォトカラーセットの場合

ブラックBJ カートリッジ BC-30	フォトBJ カートリッジ BC-32フォト	カラーBJ カートリッジ BC-31
ブラック	フォトブラック / フォトシアン / フォトマゼンタ	シアン / マゼンタ / イエロー

6 インクタンク上部を押して固定する。

「カチッ」と音がするまで、しっかりと押してください。

7 フロントカバーを閉める。

カートリッジホルダが右側へ移動し、自動的にプリントヘッドのクリーニングをはじめます。
クリーニング中は電源ランプが点滅します。終了するまで他の操作を行わないでください。
電源ランプが点灯したら、交換は完了です。

BJカートリッジを交換する

インクタンクを新しいものに交換しても、印刷結果がよくないときには、プリントヘッドが消耗しています。以下の手順で新しいBJカートリッジに交換してください。

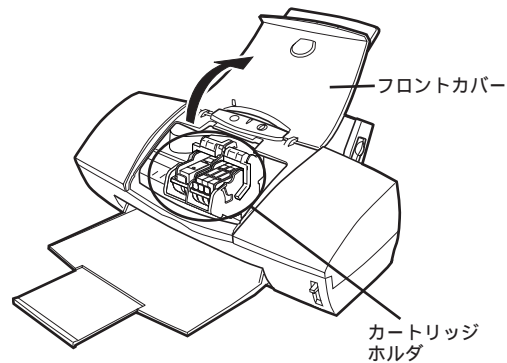
参考

BJカートリッジ交換の目安は22ページをご覧ください。

禁止

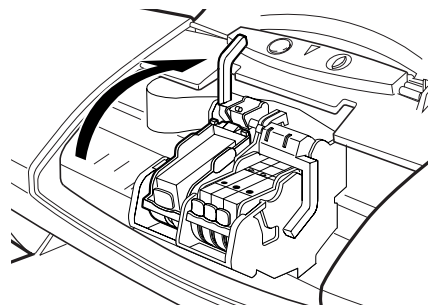
BJカートリッジとインクタンクは、交換する前と同じ位置に取り付けてください。
正しい位置に取り付けないと、正常に印刷できません。

1 プリンタの電源が入っていることを確認し、フロントカバーを開ける。

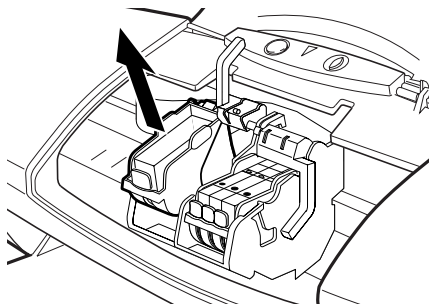
カートリッジホルダが中央へ移動します。

2 BJカートリッジ固定レバーを上げる。
ブラックBJカートリッジまたはフォトBJカートリッジを交換するときは左のレバー、カラーBJカートリッジを交換するときは右のレバーを上げる。

図は、ブラックBJカートリッジの例です。

注意

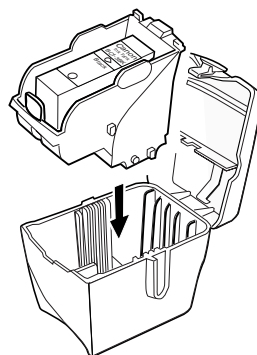
BJカートリッジを落としたり振ったりしないでください。インクが漏れて周囲や衣服を汚すことがあります。

3 インクタンクが入ったまま、BJカートリッジを持ち上げて取り出す。

参考

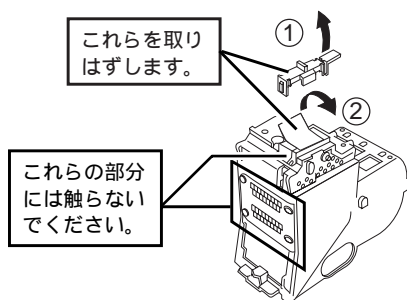
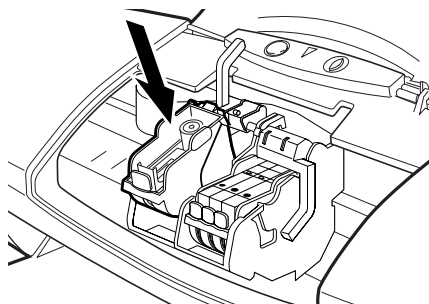
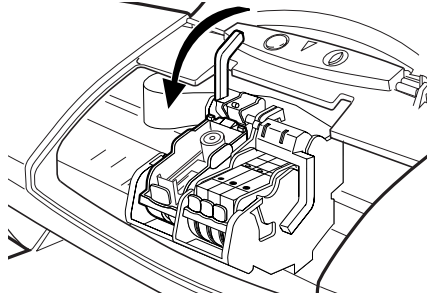
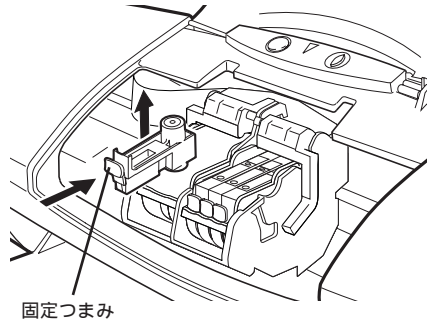
BJカートリッジのプリントヘッドや電極部には手を触れないように注意してください。

使用済みのBJカートリッジは、回収のご協力をお願いします（16ページ）。捨てるときは、地域の条例に従ってください。

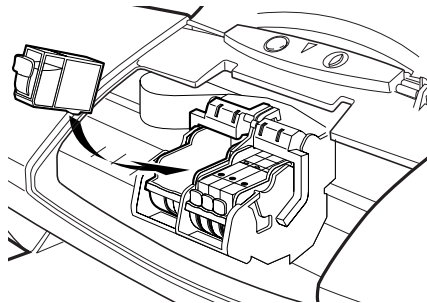
まだ使えるBJカートリッジを保管するときは、保管箱に入れてください。
保管箱に入れないと、インクが乾燥して、その後印刷できなくなります。

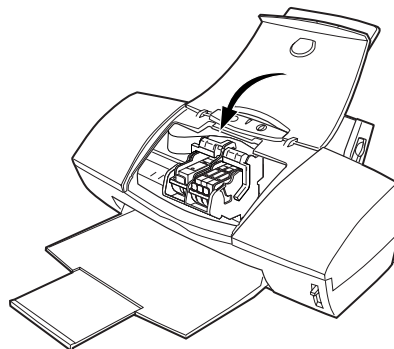
禁止

はずした保護キャップと保護テープは再装着できません。
地域の条例に従って捨ててください。

4 新しいBJカートリッジをパッケージから取り出し、オレンジ色の保護キャップ（①）と、保護テープ（②）を取りはずす。

禁止

プリントヘッドには触れないでください。その後印刷できなくなることがあります。

5 BJカートリッジをカートリッジホルダに差し込む。

6 BJカートリッジ固定レバーを止まるまでしっかりと下げる。

7 オレンジ色のプラスチック材を、固定つまみを押して取りはずす。

8 インクタンクを新しいBJカートリッジに取り付ける。

インクタンクは、取りはずしたBJカートリッジに付いていたものを利用するか、新しいインクタンクを用意してください。インクタンクの取りはずし、取付け方法は「インクタンクを交換する」（26ページ）をご覧ください。

9 インクタンクの取付けが終了したら、フロントカバーを閉める。

プリントヘッドのクリーニング中は電源ランプが点滅します。30秒前後でクリーニングが終了して、電源ランプが点灯します。

新しいBJカートリッジに交換した場合は、プリントヘッドの位置調整（32ページ）を行ってください。

プリントヘッドの位置を調整する

本機は2つのBJカートリッジを常時使用します。BJカートリッジの交換を行ったときには、2つのBJカートリッジのプリントヘッドの位置を合わせるために、次の手順に従って、プリントヘッドの位置を調整してください。

参考

用紙をセットする
10ページをご覧ください。

参考

- iMac／Power Macintosh G3の設定画面の開きかたは9ページをご覧ください。設定画面について、詳しくは『USB/パラレル変換ケーブル IFC-USB/P25 接続ガイド』の「iMac編」を参照してください。
- Windows 3.1の設定画面の開きかたは53ページをご覧ください。

参考

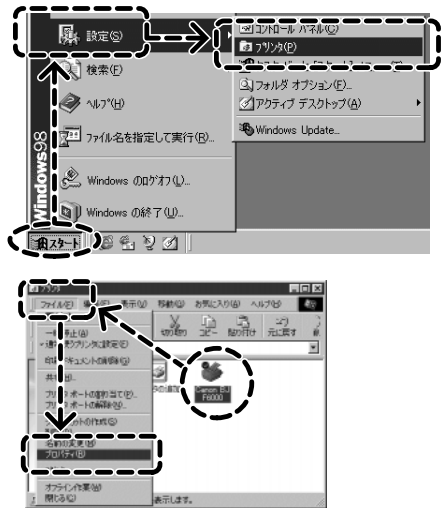
Windows NT 4.0をお使いの方は、プリンタドライバに付属している、ドキュメントファイル（ファイル名：NT310_GUIDE.DOC）の説明を参照してください。Windowsの[ワードパッド]などで開いてご覧ください。

1 電源が入っていることを確認し、オートシートフィーダにA4サイズの普通紙を1枚以上、縦置きにセットする。

2 プリンタドライバの設定画面を開く。

Windows

❶[スタート]をクリックし、[設定]−[プリンタ]を選択します。

❷[Canon BJ F6000] をクリックし、[ファイル]メニューから[プロパティ]を選択します。

3 [テストプリント]の アイコンをクリックする。

[テストプリント]を表示するには...

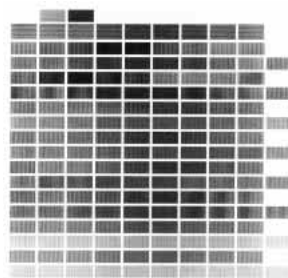
Windows

[ユーティリティ]タブをクリックして、[ユーティリティ]シートを開きます。

Macintosh

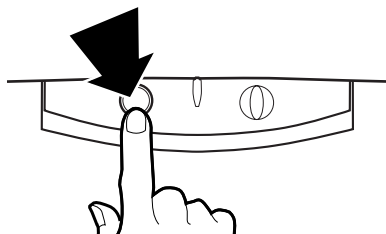
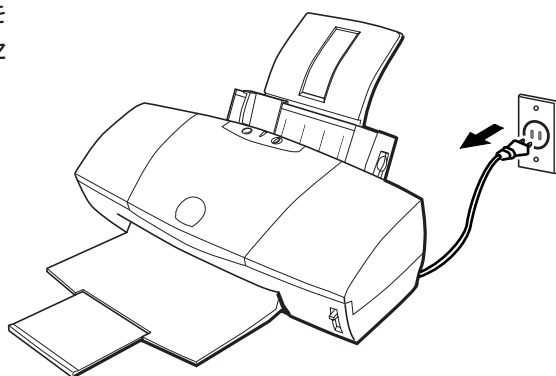
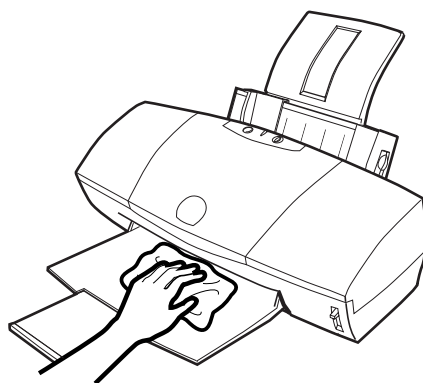
[ユーティリティ]ボタンをクリックして、メニューから[テストプリント]を選択します。

4 ヘッド位置調整を実行するかどうか確認するメッセージが表示されたら、画面のメッセージを読んで、[OK] をクリックする。

5 右のようなパターンが印刷されたら、2つのBJカートリッジのプリントヘッド位置は自動的に調整されています。

プリンタを清掃する

排紙口を清掃する

印刷した枚数が多くなると、排紙口が汚れてきます。汚れが目立ったら次の手順に従ってプリンタを清掃してください。

1 電源ボタンを押して、電源を切る。

2 電源ランプが消えていることを確認して、電源プラグをコンセントから抜く。

3 排紙口を布でふく。

警告

シンナー、ベンジン、アルコールなどの引火性溶剤を使わないでください。
プリンタ内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になることがあります。

禁止

電源の入った状態で、電源プラグをコンセントから抜かないでください。その後、印刷できなくなることがあります。

注意

清掃するときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
誤って電源が入ると、作動した内部の部品に触れてけがの原因になることがあります。

困ったときには

プリンタを使用中に問題が発生して困ったときは、以下の項目を参照してトラブルを解決してみてください。本書には起こりやすいトラブルだけを症状別に記載しています。
ここで見つからない場合は、『リファレンスガイド（CD-ROM）』をご覧ください。

エラーが発生したときは

Windows

印刷中に用紙やインク切れ、紙づまりなどのトラブルが発生すると、自動的にBJステータスモニタが表示されます。
BJステータスモニタは、印刷中のプリンタの状態や進行状況をメッセージや絵で表示するアプリケーションソフトです。

1. メッセージや絵を見て、発生しているエラーの状況を確認する。
2. ［ガイド］タブをクリックし、表示されるメッセージに従って対処を行う。
   エラーから回復すると、印刷が再開されます。

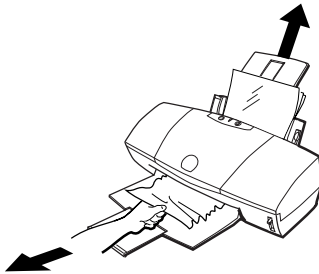
プリンタドライバがインストールできない

原因		対処方法
インストールを途中でやめてしまった。	➡	『かんたんスタートガイド』に記載されている手順にしたがってインストールする。やり直す場合は、プリンタドライバを削除し、もう一度インストールする。 〈削除の方法〉 Windows 98/Windows 95➡［スタート］から［プログラム］の［BJラスタプリンタ］を選択し、［アンインストーラ］をクリックします。以降は画面の指示に従ってください。 Windows 3.1➡プログラムマネージャの [ウィンドウ] メニューから、[BJ ラスタプリンタドライバ] を選択し、[BJ ラスタアンインストーラ] アイコンをダブルクリックします。以降は画面の指示に従ってください。 **参考** エラーが発生してインストーラが強制終了した場合は、Windowsが不安定な状態のためインストールできない場合があります。Windowsを再起動して再インストールしてください。 iMac/Power Macintosh G3➡USB/パラレル変換ケーブル（IFC-USB/P25）に付属しているセットアップディスク（CD-ROM）をセットします。[BJインストーラ]アイコンをダブルクリックし、プリンタを選択します。表示される[BJ F6000書類] 画面で、[カスタム削除]タブをクリックします。以降は画面の指示に従ってください。 詳しくは、『USB/パラレル変換ケーブル IFC-USB/P25 接続ガイド』の「iMac編」を参照してください。
他のアプリケーションソフトを起動している。	➡	他のアプリケーションソフトをすべて終了し、もう一度インストールする。
インストール用CD-ROMドライブが正しく指定されていない。	➡	Windows 98/Windows 95の場合 [マイ コンピュータ]のアイコンをダブルクリックし、開いたウィンドウにあるCD-ROMのアイコンをダブルクリックする。 以降は『かんたんスタートガイド』をご覧になり、インストールを行ってください。 Windows 3.1の場合→P.52参照 iMac/Power Macintosh G3の場合 画面上に表示されたCD-ROMのアイコンをダブルクリックする。 以降は『かんたんスタートガイド』をご覧になり、インストールを行ってください。

原因		対処方法
インストール用CD-ROMに異常がある。	➡	Windows 98/Windows 95/Windows 3.1➡Windows 98/Windows 95の［エクスプローラ］やWindows 3.1の［ファイルマネージャ］でCD-ROMが読めるか確認する。 iMac/Power Macintosh G3➡CD-ROMをセットしたときに、画面にCD-ROMのアイコンが表示されるかどうか確認する。 CD-ROMの内容が読めない場合は、ご相談窓口にお問い合わせください。

用紙がつまった

対処方法：つまった用紙の取り除きかた

● 排紙側または給紙側から引き出しやすいほうに用紙をゆっくり引っ張って取り除きます。

● 用紙が破れてプリンタ内部に残った場合は、電源を切ってからフロントカバーを開け、破れた用紙を取り除きます。

用紙が引き抜けない場合は、電源ボタンを2回押してください。用紙が自動的に排出されます。その後、再びコンピュータから印刷を実行してください。

用紙が送られない

■オートシートフィーダから用紙が送られない

原因		対処方法
普通紙で、厚すぎる用紙を使っている。	➡	重さが105g/m²以下の普通紙をセットする。 重さ105g/m²を超える用紙は使用できません。
セットした用紙の枚数が多すぎる。	➡	「オートシートフィーダ積載枚数」（54ページ）に書かれた範囲を超えないように用紙をセットする。 記載された積載枚数以上用紙をセットすると、正常に給紙できなくなります。
折れたり、反りのある用紙を使っている。	➡	「用紙についてのご注意」（19ページ）を読んで正しい用紙を使用する。 折れたり、反りのある用紙は正常に給紙されないばかりでなく、つまる原因になります。
紙間選択レバーまたは用紙選択レバーが、セットした用紙に合わせて正しくセットされていない	➡	使用する用紙の種類に合わせて、以下の表のとおりにセットしてください。

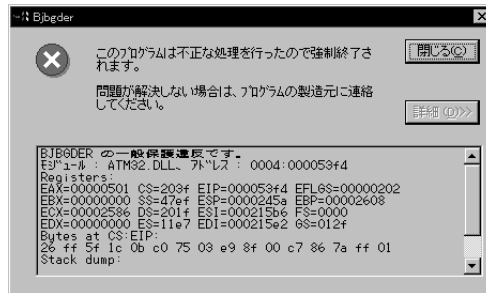
用紙の種類	紙間選択レバー	用紙選択レバー	用紙の種類	紙間選択レバー	用紙選択レバー
普通紙			OHPフィルム（CF-102）		
厚紙（普通紙）（105g/m²まで）			バックプリントフィルム（BF-102）		
バブルジェット用紙（LC-301）			バナー紙（長尺紙）（BP-101）		
高品位専用紙（HR-101S）			Tシャツ転写紙（TR-201）		
フォト光沢紙（GP-301）			BJクロス（FS-101）		
フォト光沢フィルム（HG-201）			官製はがき		
フォト光沢カード（FM-101）			フォト光沢ハガキ（KH-201N）		
			封筒（洋形４号、洋形６号）		

原因		対処方法
表面に特殊加工をした用紙、はがき、バブルジェット用紙、高品位専用紙を多く使用したため、プリンタ内部に紙粉がたまった。	➡	近くの修理サービスご相談窓口に修理を依頼する。 別紙の「ご相談窓口のご案内」をご覧ください。
OHPフィルム、バックプリントフィルム、またはBJクロスを使用している。	➡	用紙の下に、正常に給紙するための紙を敷いてから、オートシートフィーダにセットする。 これらの用紙に印刷する場合、最後の1枚がうまく給紙されないことがあります。 以下の紙を下に敷いて、セットし直してください。 OHPフィルム／バックプリントフィルム➡同じ大きさの普通紙 BJクロス➡BJクロスのパッケージに入っている厚紙

画面にメッセージが表示されている

■「LPT1への書き込みエラー」が表示されて印刷できない　Windows

原因		対処方法
プリンタの電源が入っていない。	➡	プリンタの電源ランプが緑色に点灯していることを確認する。 電源ランプが緑色に点滅している場合は、プリンタが初期動作をしています。点灯に変わるまでお待ちください。
プリンタとコンピュータがプリンタケーブルで正しく接続されていない。	➡	電源コードやプリンタケーブルをしっかりと接続する。 同梱の『かんたんスタートガイド』をご覧ください。
プリンタケーブルの異常。	➡	別のプリンタケーブルに交換する。 プリンタケーブルの異常については、販売元にご相談ください。
切替え器や外付けバッファの異常。	➡	切替え器や外付けバッファをはずし、プリンタとコンピュータを直接つないで印刷する。 正常に印刷される場合、切替え器や外付けバッファの異常が考えられます。販売元にご相談ください。
スプールの設定が正常に動作していない。	➡	スプールの設定を変更する。 プリンタドライバの設定画面を開き、[詳細] シートの [スプールの設定] をクリックし、[プリンタに直接印刷データを送る] を選択します。
プリンタポート（LPT1）の異常。	➡	プリンタポート（LPT1）の状態を確認する。 確認の方法は『リファレンスガイド（CD-ROM)』をご覧ください。
インストールされているプリンタドライバに問題がある。	➡	プリンタドライバを削除し、もう一度インストールする。 〈削除の方法〉 Windows 98/Windows 95➡ [スタート] から [プログラム] の [BJラスタプリンタ] を選択し、[アンインストーラ] をクリックします。以降は画面の指示に従ってください。 Windows 3.1➡プログラムマネージャの [ウィンドウ] メニューから、[BJ ラスタプリンタドライバ] を選択し、[BJ ラスタアンインストーラ] アイコンをダブルクリックします。以降は画面の指示に従ってください。
コンピュータにWPS（Windows Printing System）ドライバがインストールされている。	➡	WPSドライバのポートを[FILE]に変更するか、WPSドライバを削除する。 〈方法〉ポートを変更するには、WPSドライバの設定画面を開き、[詳細] シートの [印刷先のポート] で [FILE] を選択します。 ドライバを削除するには、[スタート] から [プログラム] の [Windows Printing System] を選択し、[アンインストール] をクリックします。以降は画面の指示に従ってください。

■「アプリケーションエラー」や「一般保護違反」が表示されて印刷できない Windows

原因		対処方法
Windows 98またはWindows 95で、Windows 3.1用のアプリケーションソフトから印刷している。	➡	Windows 98/Windows 95用のアプリケーションソフトで印刷する。
複数のアプリケーションソフトを起動している。	➡	他のアプリケーションソフトをすべて終了し、もう一度印刷する。
アプリケーションソフトに必要なメモリ容量が確保されていない。	➡	アプリケーションソフトの取扱説明書を参照し、必要なメモリ容量が確保されているかを確認する。 不足している場合は、メモリを増設してください。増設についてはコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
ハードディスクの空き容量が不十分。	➡	不要なファイルを削除し、空き容量を増やす。
印刷した文書ファイル、またはファイルに使用されている機能に問題がある。	➡	同じ文書を新しく作り直して印刷する。 新しい文書で問題がなければ、元の文書ファイルに問題があったと考えられます。新しい文書でも同じ症状がある場合は、ご相談窓口にお問い合わせください。
インストールされているプリンタドライバに問題がある。	➡	プリンタドライバを削除し、もう一度インストールする。 〈削除の方法〉 Windows 98/Windows 95➡[スタート]から[プログラム]の[BJラスタプリンタ]を選択し、[アンインストーラ]をクリックします。以降は画面の指示に従ってください。 Windows 3.1➡プログラムマネージャの[ウィンドウ]メニューから、[BJ ラスタプリンタドライバ]を選択し、[BJ ラスタアンインストーラ]アイコンをダブルクリックします。以降は画面の指示に従ってください。

■「エラー番号：＊300（＊は英文字)」が表示されて印刷できない Macintosh

原因		対処方法
プリンタの電源が入っていない。	➡	プリンタの電源ランプが緑色に点灯していることを確認する。 電源ランプが緑色に点滅している場合は、プリンタが初期動作をしています。点灯に変わるまでお待ちください。
プリンタとコンピュータがプリンタケーブルで正しく接続されていない。	➡	電源コードやプリンタケーブルをしっかりと接続する。 同梱の『かんたんスタートガイド』をご覧ください。
プリンタケーブルの異常。	➡	別のプリンタケーブルに交換する。 プリンタケーブルの異常については、販売元にご相談ください。
切替え器や外付けバッファの異常。	➡	切替え器や外付けバッファをはずし、プリンタとコンピュータを直接つないで印刷する。 正常に印刷される場合、切替え器や外付けバッファの異常が考えられます。販売元にご相談ください。
[セレクタ]が正しく設定されていない。	➡	セレクタの設定を確認する。 アップルメニューから、[セレクタ]を選択します。[BJ F6000]のアイコンをクリックして、[接続先]に[BJ F6000]が選択されていることを確認します。選択されていない場合は、選択してください。

以上の対処方法にしたがって操作しても解決しない場合は、不必要な機能拡張書類やコントロールパネル書類を外して印刷してみてください。

■「エラー番号：＊202（＊は英文字)」が表示されて印刷できない Macintosh

原因		対処方法
アプリケーションソフトに必要なメモリ容量が確保されていない。	➡	アプリケーションソフトの取扱説明書を参照し、必要なメモリ容量が確保されているかを確認する。 不足している場合は、メモリを増設してください。増設についてはコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

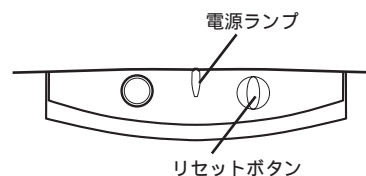
■「エラー番号：＊203（＊は英文字)」が表示されて印刷できない Macintosh

原因		対処方法
インストールされているプリンタドライバに問題がある。	➡	プリンタドライバを削除し、もう一度インストールする。 〈削除の方法〉 USB/パラレル変換ケーブル（IFC-USB/P25）に付属しているセットアップディスク（CD-ROM）をセットします。[BJインストーラ]アイコンをダブルクリックし、プリンタを選択します。表示される[BJ F6000書類]画面で、[カスタム削除]タブをクリックします。以降は画面の指示に従ってください。 詳しくは、『USB/パラレル変換ケーブル IFC-USB/P25 接続ガイド』の「iMac編」を参照してください。

印刷が途中で止まってしまう

原因		対処方法
高精細な絵や写真を印刷している。	➡	電源ランプを確認する。 緑色に点滅している場合は、データ処理中です。 このようなデータは容量が多いため、処理に時間がかかり、止まったように見えます。
長時間連続して印刷したためプリントヘッドが過熱している。	➡	区切りのいいところで印刷を中断し、プリンタの電源を切って冷えるまで（15分以上）待つ。 過熱したプリントヘッドを保護するため、行の折り返し位置で印刷が一時的に停止しますが、待っていると印刷が再開されます。 ⚠ 注意 過熱したプリントヘッドの周辺には絶対に触らないでください。高温になっています。

ブザーが鳴って電源ランプがオレンジ色に点灯（点滅）している

エラーが起きるとブザーが何回か鳴って電源ランプがオレンジ色に点灯、または点滅します。ブザーの鳴る回数でトラブルの原因がわかります。

ブザーの回数	原因		対処方法
2回	用紙がない、送られない、つまっている。	➡	用紙を正しくセットし直す。 つまった用紙を取り除く。（36ページ） 対処後、印刷を続けるにはリセットボタンを押す。
3回	用紙がつまっている。	➡	つまった用紙を取り除く。（36ページ） 対処後、印刷を続けるにはリセットボタンを押す。
4回	BJカートリッジのインク切れ	➡	なくなった色のインクタンクを交換する。（26ページ）
5回	BJカートリッジが正しく取りつけられていない	➡	カートリッジホルダの左側にブラックまたはフォトBJカートリッジ、右側にカラーBJカートリッジを取り付ける。（16、29ページ）
6回	BJカートリッジがない	➡	カートリッジホルダの左側にブラックまたはフォトBJカートリッジ、右側にカラーBJカートリッジを取り付ける。（16、29ページ）
7回	BJカートリッジの不良	➡	BJカートリッジをはずし、接点部が汚れていないか、保護テープがはずされているかを確認して、もう一度取り付け直す。エラーが解決しない場合は、新しいBJカートリッジに交換する。（29ページ）
8回	内蔵されている廃インクタンクがそろそろ満杯になる。	➡	リセットボタンを押して、エラーを解除する。 しばらくの間は印刷を続けられますが、満杯になるとブザーが10回鳴り、電源ランプがオレンジ色に6回ずつ点滅し、印刷ができなくなりますので、早めにお買い求めの販売店または修理サービス相談窓口に廃インクタンクの交換を依頼してください（廃インクタンクは、プリントヘッドのクリーニング時に消費したインクをためるタンクです）。

ブザーの回数	原因		対処方法
9回	自動ヘッド位置調整が正しく行えなかった	➡	インクがなくなっている場合やプリントヘッドのノズルが目づまりしている場合は、リセットボタンを押してエラーを解除し、ノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドの状態を確認する。（23ページ） パターンが正常に印刷されない場合は、再度自動ヘッド位置調整を行う。（32ページ） プリンタの排紙口を光が当たらない向きに変え、再度自動ヘッド位置調整を行う。（32ページ） それでもだめな場合は、手動ヘッド位置調整を行う。
10回	サービスが必要なエラー	➡	電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。しばらくして電源プラグをコンセントに接続し、もう一度電源を入れる。 それでも電源ランプがオレンジ色に点滅する場合は、お買い求めの販売店または修理サービス相談窓口にご相談ください。 その際には、電源ランプが点滅する色と回数をお知らせください。

印刷結果に満足できない

■意味不明の文字や記号が印刷される

正常な状態

文字が化けている

原因	対処方法
前回中止した印刷データがコンピュータやプリンタに残っている。	プリンタとコンピュータの電源を入れ直して、もう一度印刷する。
BJ F6000用以外のプリンタドライバを使用している。	Windows 98/Windows 95/Windows 3.1➡アプリケーションソフトの印刷ダイアログボックスのプリンタ名を確認して、[Canon BJ F6000]が選択されていることを確認する。（7ページ、53ページ） iMac/Power Macintosh G3➡セレクタの設定を確認する。 アップルメニューから[セレクタ]を選択します。[BJ F6000]のアイコンをクリックして、[接続先]に[BJ F6000]が選択されていることを確認します。選択されていない場合は、選択してください。
プリンタとコンピュータがプリンタケーブルでしっかりと接続されていない。	電源コードやプリンタケーブルをしっかりと接続する。 同梱の『かんたんスタートガイド』をご覧ください。
プリンタケーブルの異常。	別のプリンタケーブルに交換する。 プリンタケーブルの異常については、販売元にご相談ください。
切替え器や外付けバッファの異常。	切替え器や外付けバッファをはずし、プリンタとコンピュータを直接つないで印刷する。 正常に印刷される場合、切替え器や外付けバッファの異常が考えられます。販売元にご相談ください。

原因		対処方法
プリンタがECPモードに設定されている。Windows	➡	ECPモードを解除する。 〈方法〉プリンタドライバの設定画面を開き、[ユーティリティ]シートの[特殊設定]をクリックし、[プリンタをECPモードにする]のチェックマークを消して[送信]をクリックします。
印刷した文書ファイル、またはファイルに使用されている機能に問題がある。	➡	同じ文書を新しく作り直して印刷する。 新しい文書で問題がなければ、元の文書ファイルに問題があったと考えられます。新しい文書でも同じ症状がある場合は、ご相談窓口にお問い合わせください。

■印刷がかすれる／違う色になる

原因		対処方法
BJカートリッジのプリントヘッドが目づまりしているか、インクがなくなっている。	➡	ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの状態を確認する。（23ページ）
一度はずしたオレンジ色の保護キャップや保護テープをプリントヘッドに再び取り付けた。	➡	保護キャップや保護テープをはずしてBJカートリッジをセットし、プリントヘッドをクリーニングする。 BJカートリッジを交換する→29ページ プリントヘッドをクリーニングする→24ページ
用紙の表裏を間違えて、印刷に適さない面に印刷した。	➡	用紙の表裏を確認し、印刷に適した面に印刷されるように用紙をセットする。 詳細は『リファレンスガイド（CD-ROM)』をご覧ください。

■文書の最後まで印刷できない

原因		対処方法
アプリケーションソフトやプリンタドライバで設定されている用紙サイズと、印刷した用紙のサイズが異なる。	➡	・プリンタドライバの[用紙サイズ]を、印刷する用紙サイズと同じ設定にする。 ・用紙サイズを指定できるアプリケーションソフトを使っている場合、[用紙サイズ]の設定を、プリンタドライバの[用紙サイズ]と同じ設定にする。

原因		対処方法
プリンタとコンピュータがプリンタケーブルでしっかりと接続されていない。	➡	電源コードやプリンタケーブルをしっかりと接続する。 同梱の『かんたんスタートガイド』をご覧ください。
プリンタケーブルの異常。	➡	別のプリンタケーブルに交換する。 プリンタケーブルの異常については、販売元にご相談ください。 同梱の『かんたんスタートガイド』をご覧ください。
切替え器や外付けバッファの異常。	➡	切替え器や外付けバッファをはずし、プリンタとコンピュータを直接つないで印刷する。 正常に印刷される場合、切替え器や外付けバッファの異常が考えられます。販売元にご相談ください。
プリンタがECPモードに設定されている。 Windows	➡	ECPモードを解除する。 〈方法〉 プリンタドライバの設定画面を開き、[ユーティリティ]シートの［特殊設定］をクリックし、[プリンタをECPモードにする］のチェックマークを消して［送信］をクリックします。
コンピュータにWPS（Windows Printing System）ドライバがインストールされている。 Windows	➡	WPSドライバのポートを[FILE]に変更するか、WPSドライバを削除する。 〈方法〉 ポートを変更するには、WPSドライバの設定画面を開き、［詳細］シートの［印刷先のポート］で［FILE］を選択します。 ドライバを削除するには、［スタート］から［プログラム］の［Windows Printing System］を選択し、［アンインストール］をクリックします。以降は画面の指示に従ってください。

■印刷面がこすれる

原因		対処方法
紙間選択レバーが、セットした用紙に合わせて正しくセットされていない	➡	使用する用紙の種類に合わせて、紙間選択レバーをセットする。 （37ページ） 普通紙の場合も、印刷面がこすれるときは紙間選択レバーを下（ ）にセットしてみてください。

■画面の色と印刷した色合いが違う

ディスプレイとプリンタでは発色方法が異なります。また、ディスプレイを見ている環境や色の調整によっても発色が異なるため、色合いは完全に同じにはなりません。例えば、ディスプレイでは青に見えるものが紫に、黄緑に見えるものが深緑に印刷されます。しかし、極端に異なる場合は次の項目を確認してください。

原因		対処方法
BJカートリッジのプリントヘッドが目づまりしている、または特定のインクがなくなっている。	➡	ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの状態を確認する。（23ページ）
プリンタドライバで、印刷の設定が正しく行われていない。	➡	写真印刷の場合、[スーパーフォト]（Windowsの場合）または[写真]（Macintoshの場合）を選択するなど、印刷目的に合ったオートパレットを選択する。また、[BJカートリッジ]、[用紙の種類] の設定が、実際に使用するものと合っているか確認する。（Windowsの場合：7ページ、Macintoshの場合：9ページ）

■印刷した用紙がカールする／反り返る／波打ったようになる

原因		対処方法
薄い用紙を使用しているため、インクを十分に吸収できない。	➡	印刷面にコーティング処理が施されている、高品位専用紙（HR-101S）を使用してみる。（18ページ）
濃度が高く設定されている。	➡	プリンタドライバで濃度を低く設定する。

〈方法〉 **Windows**

プリンタドライバの設定画面を開き、[オートパレット詳細] をクリックして、[色設定] タブをクリックします。[濃度] のスライドバーを左側に設定して濃度を低くします。

Macintosh

プリンタドライバの設定画面を開き、（マニュアル）アイコンをクリックし、[詳細設定]ボタンをクリックします。[カラー]アイコンをクリックし、[濃度]のスライドバーを左側に設定して濃度を低くします。

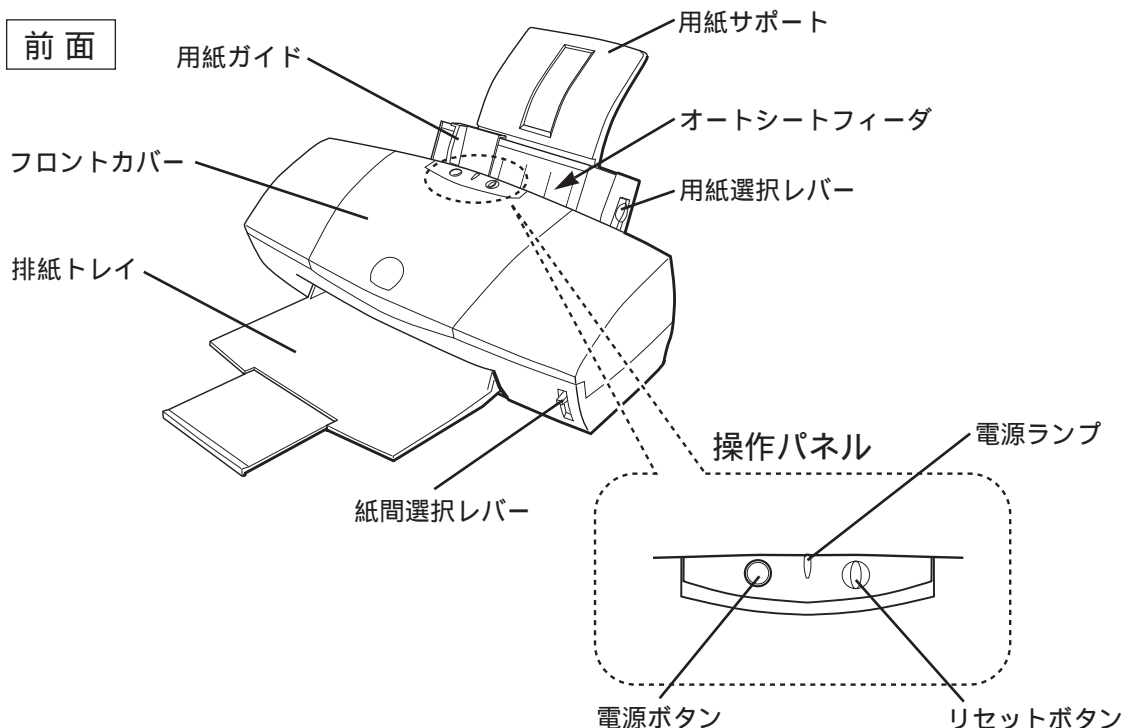
■印刷した官製はがきが汚れる

原因		対処方法
ブラックBJカートリッジを取り付けて官製はがきの両面に印刷し、ブラックの濃度が高く設定されていたため、印刷した面のインクが次のはがきに写った。	➡	プリンタドライバでブラックの濃度を低く設定する。 〈方法〉 **Windows** プリンタドライバの設定画面を開き、[オートパレット詳細]をクリックして、[色設定]タブをクリックします。[カラーバランス]の[ブラック]のスライドバーを左側に設定して濃度を低くします。 **Macintosh** プリンタドライバの設定画面を開き、（マニュアル）アイコンをクリックし、[詳細設定]ボタンをクリックします。 [カラー]アイコンをクリックし、[カラーバランス]の[ブラック]のスライドバーを左側に設定して濃度を低くします。 それでも改善されない場合は、ブラックBJカートリッジをフォトBJカートリッジに交換して印刷してください。

その他のトラブル

以下のトラブルと対処方法は『リファレンスガイド（CD-ROM）』をご覧ください。

- カラー原稿がモノクロになる
- カラーがきれいに印刷されない
- 90°回転してしまう
- 左上や右下にずれる／右側や下端が欠ける
- 左右反転した画像になる
- 拡大・縮小印刷がうまくできない
- ページにまたがる
- 罫線がずれる
- 用紙の裏が汚れる
- インクがにじむ
- 印刷面がこすれる
- 白い筋が入る
- 色むらや色筋がある
- 文字や図形がギザギザになる／グラデーションが帯状の模様になる Macintosh
- 電源が入らない
- 印刷が始まらない
- 動作はするが印刷されない
- カートリッジホルダが交換位置にない
- はがきや封筒がうまく送られない
- 用紙が斜めに送られる
- 用紙が何枚も重なって送られる
- その他のエラーメッセージ（『基本操作ガイド』で説明されているメッセージ以外のエラーメッセージが表示される）
- BJステータスモニタが表示されない
- バックグラウンド印刷ができない

付録：各部の名称と役割

用紙ガイド
用紙をセットしたときに、用紙の端に軽く当てます。

用紙サポート
大きめの用紙をセットするときに、用紙を支えます。

オートシートフィーダ
ここに用紙をセットします。一度に複数枚の用紙をセットできます。自動的に1枚ずつ給紙されます。

フロントカバー
BJカートリッジの交換や、紙づまりのときに開けます。

排紙トレイ
印刷された用紙がここに排出されます。印刷するときには引き出しておきます。

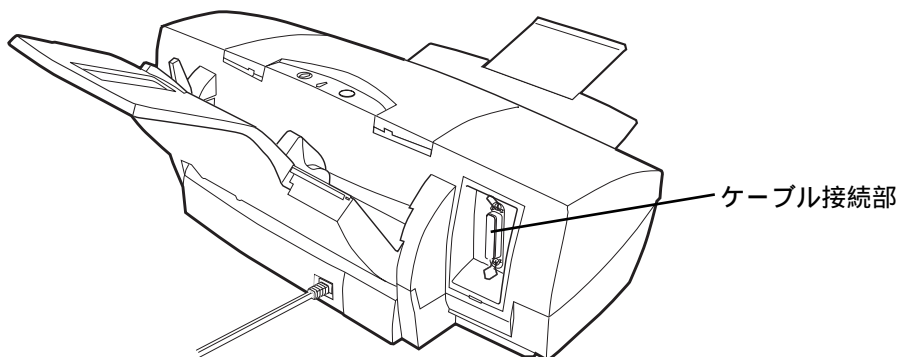
電源ランプ
消灯ー電源がオフの状態です。
緑色に点灯ー印刷ができます。
オレンジ色に点灯ーエラーが発生し、印刷できない状態です。
緑色に点滅ープリンタの準備動作中、または印刷中です。
オレンジ色に点滅ーサービスが必要なエラーが発生しました。（43ページ）

電源ボタン
電源を入れたり切ったりするときに押します。

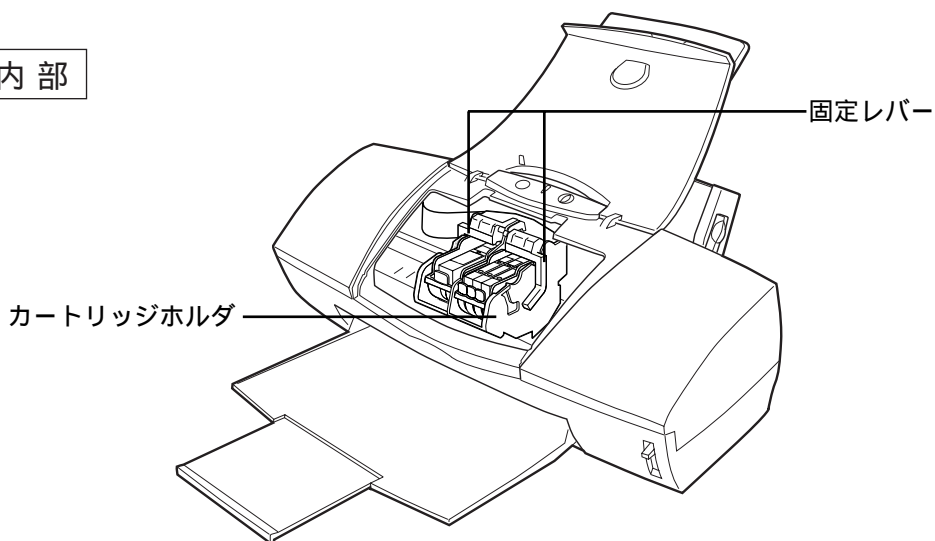
用紙選択レバー
用紙の種類に応じて、給紙部分を切り替えます。

紙間選択レバー
用紙の種類に応じて、プリントヘッドと用紙の間隔を切り替えます。

リセットボタン
プリンタのトラブルを解消してからこのボタンを押すと、印刷できるようになります。

背面

ケーブル接続部

コンピュータと接続するためのコネクタです。

内部

カートリッジホルダ

左にブラックBJカートリッジまたはフォトBJカートリッジ、右にカラーBJカートリッジを取り付けます。

固定レバー

カートリッジホルダにセットされたBJカートリッジを固定します。BJカートリッジを交換するときはレバーを上げます。

付録

プリンタドライバをインストールする

Windows 3.1を起動して、次の手順でインストールします。

【インストールの前に確認してください】
・起動中のアプリケーションソフトを終了させてください。
・以前にBJプリンタを使ったことがある場合は、バージョンが異なるプリンタドライバを削除してからインストールを行ってください。
・インストールが終わるまで、CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出さないでください。

1.プログラムマネージャの[アイコン]メニューから[ファイル名を指定して実行]を選択する。

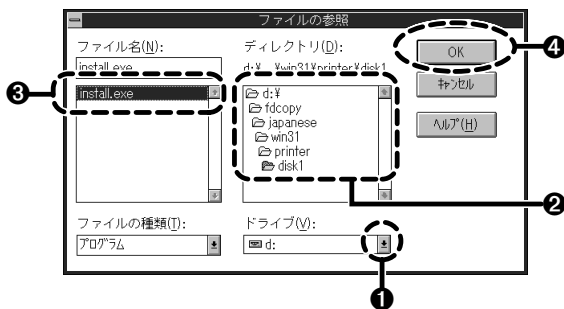
2.プリンタドライバのCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

3.[参照]ボタンをクリックする。

4.「install.exe」を選択する。

❶[ドライブ]の▼をクリックして、CD-ROMドライブ名をクリックする。

❷[ディレクトリ]の一覧から[fdcopy]、[japanese]、[win31]、[printer]、[disk1]の順にダブルクリックする。

❸[ファイル名]一覧から[install.exe]をクリックする。

❹[OK]をクリックする。

参考

CD-ROMドライブは のアイコンで表示されます。選択に迷ったら同じアイコンを選んでください。

5.再び[OK]をクリックする。

しばらくすると「BJラスタプリンタドライバ インストーラ」のダイアログボックスが表示されます。

6.[継続]をクリックする。

7.使用許諾契約書の内容をよく読み、同意する場合は[同意する]をクリックする。

参考

[同意しない]をクリックすると、インストールを中止して終了します。
[お読みください]をクリックすると、readme.txtファイルの内容を読むことができます。

8.以降は、画面の内容に従って操作してください。

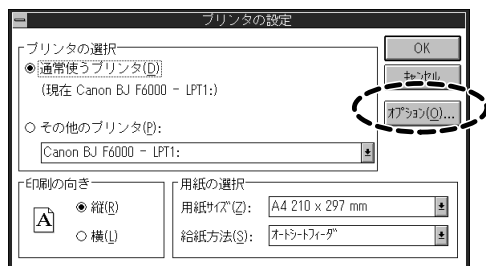
プリンタドライバの設定画面を開く

1.**アプリケーションソフトで、印刷を実行するメニュー項目を選択する。**

一般的には[ファイル]メニューの[印刷]、[プリンタの設定]などを選択すると、ダイアログボックスが開きます。

参考

操作のしかたはアプリケーションソフトによって違います。お使いになるアプリケーションソフトの取扱説明書も併せてご覧ください。

2.**[プリンタの設定]ダイアログボックスで[通常使うプリンタ]が[Canon BJ F6000]になっていることを確認して、[オプション]など、プリンタドライバを開くボタンをクリックする。**

プリンタドライバの設定画面が開きます。

ユーティリティ画面を開く

1.**アプリケーションソフトで、印刷を実行するメニュー項目を選択する。**

2.**[プリンタの設定]ダイアログボックスで[通常使うプリンタ]が[Canon BJ F6000]になっていることを確認して、[オプション]など、プリンタドライバを開くボタンをクリックする。**

3.**プリンタドライバの設定画面で[ユーティリティ]をクリックする。**

プリンタドライバのユーティリティ画面が開きます。

4.**実行したい機能のボタンを選択する。**

付録：仕様

印刷方式
シリアルバブルジェット方式

印刷解像度
最高　1440（横）×720（縦）dpi

印刷速度（弊社標準パターンにて測定）

ブラック印刷	高速：8ppm
	標準：7.0ppm
カラー印刷	高速：5ppm
	標準：4.5ppm
フォト印刷	高品位：0.18ppm

印刷方向　双方向

印字幅　最長　289.6mm

動作モード　キヤノン拡張モード

受信バッファ　1MB

インタフェース
IEEE 1284準拠パラレルインタフェース

インタフェースコネクタ
アンフェノール57 - 40360相当

推奨プリンタケーブル
素材：AWG28以上
タイプ：ツイストペアシールド付きケーブル
長さ：最大 2.0m
コネクタ：アンフェノール30360相当

動作音　約48dB（A）

動作環境
温度　5℃〜35℃
湿度　10%〜90%（ただし結露がないこと）

保存環境
温度　0℃〜35℃
湿度　5%〜90%（ただし結露がないこと）

電源　AC100V 50/60Hz

消費電力
約3W（待機時）　約35W（印刷時）

寸法
574mm（横）×328mm（奥行）×205mm（高さ）
（用紙サポート、排紙トレイを取り外した状態）

質量　本体　約6.8kg
（用紙サポート、排紙トレイを取り外した状態）

給紙方法

連続給紙（オートシートフィーダ）
普通紙、高品位専用紙、官製はがき、フォト光沢ハガキ、封筒、OHPフィルム、フォト光沢フィルム、バックプリントフィルム、BJクロス、Tシャツ転写紙、バナー紙（長尺紙）、フォト光沢紙、フォト光沢カード

オートシートフィーダ積載枚数

普通紙 （64 g/m²のとき）	最大100枚
高品位専用紙	最大80枚
官製はがき	最大40枚
フォト光沢ハガキ	最大40枚
封筒	最大10枚
OHPフィルム	最大30枚
バックプリントフィルム	最大10枚
フォト光沢紙	1枚
フォト光沢フィルム	1枚
フォト光沢カード	1枚
バナー紙（長尺紙）	1枚
BJクロス、Tシャツ転写紙	1枚

使用できる用紙

サイズ：　A3、A4、A5、B4、B5、Legal、はがき、
洋形4号、洋形6号
Letter、A4 ＋、Letter＋
重さ：　64 g/m²〜105 g/m²

一般的な用紙
普通紙
官製はがき
封筒　洋形４号、洋形６号

キヤノン専用紙

キヤノンバブルジェット用紙	LC-301
フォト光沢ハガキ	KH-201N
高品位専用紙	HR-101S
フォト光沢紙	GP-301
フォト光沢カード	FM-101
フォト光沢フィルム	HG-201
OHPフィルム	CF-102
バックプリントフィルム	BF-102
バナー紙（長尺紙）	BP-101
BJクロス	FS-101
Tシャツ転写紙	TR-201

グラフィックイメージ印刷

データ構成
キヤノン拡張モード　ラスタイメージフォーマット

解像度
キヤノン拡張モード　180、360、720、1440dpi

使用できるBJカートリッジ

ブラックBJカートリッジ

正式名称　ブラックBJカートリッジBC-30
ノズル数　160
インク色　ブラック
印刷可能枚数　約500枚（1500文字標準文書）

カラーBJカートリッジ

正式名称　カラーBJカートリッジBC-31
ノズル数　各色48
インク色　シアン、マゼンタ、イエロー
印刷可能枚数*　約280枚（1ページに各色7.5%印刷）

フォトBJカートリッジ

正式名称　フォトBJカートリッジBC-32フォト
ノズル数　各色48
インク色　フォトブラック、フォトシアン、フォトマゼンタ
印刷可能枚数*　約280枚（1ページに各色7.5%印刷）

＊A4サイズの印刷可能領域をもとにインクタンクの印刷可能枚数を算出

プリンタドライバの動作環境

動作環境	必要な条件
コンピュータ本体	・Microsoft Windows 98日本語版、Microsoft Windows 95日本語版、Microsoft Windows NT4.0日本語版、またはMicrosoft Windows 3.1日本語版が動作するコンピュータ*（DOS/V機および36ピンパラレルインタフェースを持つNEC PC-9800シリーズ） ・iMacまたはPower Macintosh G3
基本ソフトウェア	Microsoft Windows 98日本語版、Microsoft Windows 95日本語版、Microsoft Windows NT4.0日本語版、Microsoft Windows 3.1日本語版、およびMac OS8.1（日本語版）以上
ハードディスク	インストール時に必要な容量はWindows 98、Windows 95、Windows NT4.0およびMac OSの場合は約21Mbyte、Windows 3.1の場合は約9Mbyte（一時的に使用する領域を含む）

*BJステータスモニタを使うためには、双方向通信が可能なセントロニクスケーブルを使用してください。

参考

以下の条件ではBJステータスモニタは使用できません。
- **双方向通信機能に対応していないPC-9800シリーズの一部の機種（エプソン製の互換機を含む）**
- **本機をネットワークプリンタとして使用する場合**

参考

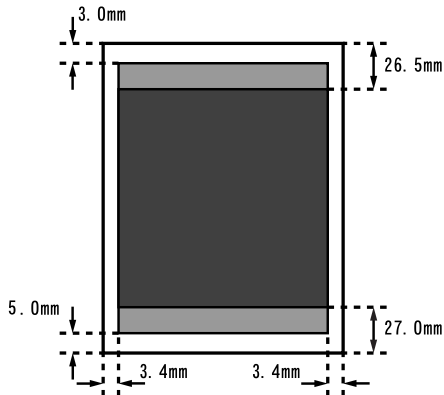
Microsoft Windows 98（英語版）、Microsoft Windows 95（英語版）、Microsoft Windows NT4.0（英語版）、Microsoft Windows 3.1（英語版）およびMac OS（英語版）での動作は保証しておりません。

印刷できる範囲

プリンタは印刷の品質を維持するため、用紙の上下左右に余白を設けています。実際に印刷できる範囲は、これらの余白を除いた部分となります。用紙サイズによって、印刷できる範囲が異なりますのでご注意ください。
ここでは、A5、A5横、A4、A4横、A3、B5、B5横、B4、はがき、はがき横について説明します。

CD-ROM

他の用紙については、『リファレンスガイド（CD-ROM）』をご覧ください。

印刷できる範囲には印刷推奨領域と印刷可能領域があります。
印刷推奨領域…この範囲に印刷することをお勧めします（　　　の部分）。
印刷可能領域…印刷できる範囲です。ただし、印刷の品位または用紙送りの精度が低下することがあります（　　　の部分）。

印刷可能領域（幅×長さ）

	単位：mm
A5	141.2×202.0
A5横	203.2×140.0
A4	203.2×289.0
A4横	290.2×202.0
A3	290.2×412.0
B5	175.2×249.0
B5横	250.2×174.0
B4	250.2×356.0
はがき	93.2×140.0
はがき横	141.2×92.0

付録

お問い合わせの前に

本書または『リファレンスガイド（CD-ROM)』の「困ったときには」の章を読んでもなおトラブルの原因がはっきりしない場合は、次の要領でお問い合わせください。

プリンタの故障の場合は？

プリンタがどうやっても動かなかったり、深刻なエラーが発生して回復しない場合は、プリンタの故障と判断されます。

―― **プリンタ本体の故障と判断されるとき**

修理のご依頼

プリンタ本体に原因・・・

確認の結果や症状を記入しましょう

状況をまとめて、お買い上げいただいた販売店またはお近くの修理サービスご相談窓口に修理を依頼してください。

別紙の「ご相談窓口のご案内」をご覧ください。

トラブルの原因がわからない？

プリンタの動作が正常に行われ、ソフトウェアの設定も問題なければ、プリンタケーブルやコンピュータシステム（メモリ、ハードディスク、インタフェースなど）に原因があると思われます。

―― **プリンタケーブルやコンピュータのシステムに原因がある**

トラブルや取り扱い方法のお問い合わせ

プリンタケーブルやシステムに原因・・・

確認の結果や症状を記入しましょう

確認の結果や具体的な症状などをお問い合わせシートに記入してから、お客様相談センターにお問い合わせください。

別紙の「ご相談窓口のご案内」をご覧ください。

アプリケーションソフトの問題のようだけど？

特定のアプリケーションソフトで起きるトラブルはコンピュータシステムの原因か、あるいはソフトウェア自体に原因があると予想されます。プリンタドライバを最新バージョンにインストールし直すと問題が解決される場合があります。また、アプリケーションソフト固有の問題である可能性もありますので、アプリケーションソフトメーカのご相談窓口へもお問い合わせください。

―― **プリンタドライバのバージョンやアプリケーションに原因がある**

コンピュータのシステムに原因

最新のプリンタドライバを入手したい

アプリケーションソフトに原因

アプリケーションソフトメーカのご相談窓口へ

アプリケーションソフトに原因・・・

アプリケーションソフトの取扱説明書を確認して、メーカのご相談窓口にもお問い合わせください。ソフトウェア固有の問題に関する情報が得られます。

プリンタドライバのバージョンアップ

NIFTY SERVEキヤノンステーションまたはキヤノン販売インターネットダウンロードサービス(http://www.canon-sales.co.jp/)で入手できます。ここにプリンタドライバの最新バージョン情報や特定のアプリケーションに関わるトラブル情報も掲載されていますので、ぜひご活用ください。また、パソコン通信を利用できないお客様のために郵送サービスも実施しております。

別紙の「ご相談窓口のご案内」をご覧ください。

修理の依頼は

●窓口へお持ちいただく場合

最寄りの修理サービスご相談窓口まで製品をお持ち込みください。その際、下記の事項をメモ書きでご用意いただくと、受付時にお客様の貴重なお時間を節約することができます。
お客様のお名前、ご住所（修理後商品を返送する場合はその住所）、電話番号、製品名、機番（保証書／販売シートを参照）、お買い上げ日、故障した日、保証期間中の有無、故障内容（どのように使用したときにどんな不具合があるか）、お買い上げいただいた販売店の住所、電話番号、また保証期間中の場合は保証書を商品とともにお持ちくださるようにお願いします。

●宅配便で送付していただく場合

- 商品が輸送中のショックで壊れないように、なるべくご購入いただいたときの梱包材をご利用ください。他の箱をご利用になるときは、丈夫な箱にクッションを入れて、商品がガタつかないようにしっかりと梱包してください（インクが漏れないように、『プリンタドライバ／リファレンスガイド（CD-ROM)』にある「プリンタの移送」をご覧になって梱包してください）。
- 「パーソナル商品修理受付票」に所定の事項をご記入いただき（「窓口へお持ちいただく場合」と同様のメモ書きでも構いません）、商品に添付してください（なお、FAX情報サービス（受付番号:6000#）またはインターネットのキヤノン販売ホームページ
(http://www.canon-sales.co.jp/Customer/repair/rpr_sht.html)
で「パーソナル商品修理受付票」を入手できます）。

ご注意：保証期間中の保証書は、記入漏れのないことをご確認のうえ、必ず商品に添付、または商品と一緒にお持ちください。

お問い合わせシート（電話ご相談窓口へお問い合わせのとき）

【プリンタの接続環境について】
コンピュータ　メーカ名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿／機種名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
プリンタケーブル　メーカ名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿／品名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
接続方法：□プリンタを単独で使用　□プリンタを共有して使用（ネットワーク：　　　／その他：　　　）
【コンピュータの使用環境について】
基本ソフトの種類：
□Windows98（バージョン：　　　）　□WindowsNT（バージョン：　　　）
□Windows95（バージョン：　　　）　□Windows3.1（バージョン：　　　）
□Macintosh（バージョン：　　　）　□その他（　　　）

メモリ容量：＿＿＿MB　ハードディスク容量：＿＿＿MB（空き容量：＿＿＿MB）

【ご使用のソフトウェアについて】（複数あればすべて記入）
アプリケーションソフト　メーカ名：＿＿＿／製品名：＿＿＿／バージョン：＿＿＿
メーカ名：＿＿＿／製品名：＿＿＿／バージョン：＿＿＿
メーカ名：＿＿＿／製品名：＿＿＿／バージョン：＿＿＿
プリンタドライバのバージョン：（　　　）

【エラー表示】
コンピュータの画面に表示されたエラーメッセージ（できるだけ正確に）：
（　　　）

【確認の結果を記入してください】
プリンタの電源ランプ　□ついた　□つかない　□点滅している
プリンタのエラーランプ　□ついた　□つかない　□点滅している
プリンタからのノズルチェックパターン　□印刷した　□印刷しない　□正常に印刷できない
プリンタドライバからのテストプリント　□印刷した　□印刷しない　□正常に印刷できない
アプリケーションソフトからの印刷　□印刷した　□印刷しない　□正常に印刷できない

【具体的な症状を記入してください】